

# 石橋政嗣関係文書（第二次分）目録

## 【目次】

|                                     |    |
|-------------------------------------|----|
| 【海外訪問関係】                            | 39 |
| 1962年1月 第三次訪中団関係                    | 39 |
| 1964年7月 訪ソ関係                        | 39 |
| 1964年10月14日－30日 第四次訪中団関係            | 40 |
| 社会党五団体訪中                            | 40 |
| 挨拶・演説等草稿                            | 40 |
| 中国核実験関係                             | 41 |
| 会合                                  | 42 |
| 共同声明                                | 43 |
| 報告                                  | 43 |
| その他                                 | 43 |
| 1970年 五カ国訪問関係（ソ連・東独・朝鮮・ベトナム・中国）     | 45 |
| ソ連・東独                               | 45 |
| 朝鮮                                  | 45 |
| 中国                                  | 46 |
| その他                                 | 47 |
| 1974年9月21日－10月14日 ソ連・東欧訪問関係         | 47 |
| 1983年9月26日－10月2日 訪中関係               | 48 |
| 1984年4月7日－17日 訪米関係                  | 50 |
| 1984年9月17日－22日 訪朝関係                 | 52 |
| 1985年9月14日－26日 ソ連・東独訪問関係            | 54 |
| 新聞記事他 東独                            | 57 |
| 新聞記事他 ソ連                            | 58 |
| 1986年4月14日－23日 オーストラリア・ニュージーランド訪問関係 | 60 |
| 1988年4月 プラウダ紙上討論会関係                 | 60 |
| 1988年10月12日－16日 訪韓関係                | 62 |
| 党内準備資料                              | 62 |
| 韓国国勢等調査資料                           | 62 |
| 韓国パンフレット                            | 63 |
| 1988年記事                             | 63 |
| 1986年訪韓論争関係記事                       | 64 |
| その他                                 | 65 |
| 訪韓日程・草稿類・報告                         | 65 |
| パンフレット・新聞等                          | 67 |

|                      |     |
|----------------------|-----|
| 【講演録、パンフレット等】        | 70  |
| 選挙                   | 70  |
| メーデー                 | 70  |
| 日本社会党結党40周年記念        | 71  |
| 国会                   | 72  |
| 講演・演説                | 72  |
| 石橋政嗣関係記事             | 76  |
| その他                  | 77  |
| 【雑誌・新聞（石橋政嗣関係）】      | 79  |
| ※ 雑誌・新聞（石橋政嗣関係）年月日索引 | 101 |

## 石橋政嗣関係文書(第二次分)目録

### 【海外訪問関係】

#### 1962年1月 第三次訪中団関係

- 966 日本社会党第三次訪中使節団団長鈴木茂三郎・中国人民外交学会会長  
張奚若の共同声明  
活字 1962年1月13日 4枚
- 967 大公報 第20911号  
活版 1962年1月13日 1部  
毛主席接見日本社会党代表团
- 968 大公報 第20912号  
活版 1962年1月14日 1部  
鈴木茂三郎関係記事
- 969 人民日報 第4937号  
活版 1962年1月14日 1部  
鈴木茂三郎関係記事  
付：人民日報 第4937号 第一～四部 1枚
- 970 【整理封筒】  
1枚  
「1962年 鈴木ミッション 訪中関係」と記載。資料番号967-969を収納。

#### 1964年7月 訪ソ関係

- 971 訪ソ代表团メモ〔日誌、代表团会合要旨〕  
石橋政嗣  
ペン ノート [1964年4月24日-7月15日] 1冊  
会合メモ(第1回4月24日-第5回6月3日) 日誌(6月27日出港-7月15日モスクワ発)

- 972 **日ソ関係（資料）** **〔訪ソ準備ノート〕**  
 石橋政嗣  
 ペン ノート [1964年5月12日ー] 1冊  
 ソ連関係新聞記事内容摘記（5月12日～19日）、日ソ東欧貿易会事務局長ヒヤ  
 リング要旨 ミコヤン副首相との会談メモ（5月23日）、北方領土問題等  
 付：(1) 国会提出資料 沿革的に見た北方領土の地位 外務省 1964年3月31日  
 14枚  
 (2) 〔新聞記事切抜（訪日ソ連議員団関係）〕 1964年5月1□日 3枚  
 (3) 『世界の動き 特集15 北方領土』 外務省文化局 1961年12月 1冊
- 973 **会談会議録**  
 ペン・鉛筆 ノート [1964年7月6日ー7月14日] 1冊  
 付：(1) 〔日本社会党代表団メンバー氏名・写真一覧表〕 1枚  
 (2) 献立表 1964年7月14日 1枚
- 974 **〔整理封筒〕** 2枚  
 (1) 「一九六四年七月 訪ソ関係資料 一九七〇年六月 訪ソ・訪独（五  
 カ国訪問の一環）」と記載。資料番号971-973、1017を収納。  
 (2) 封筒に記載なし。資料番号966、1004を収納。

## 1964年10月14日ー30日 第四次訪中団関係

### ●社会党五団体訪中

- 975 **毛沢東主席と佐々木更三、黒田寿男、細迫兼光、荒哲夫、曾我祐次の  
 諸氏との会見記録**  
 社会主義研究所代表団  
 活版 1964年7月10日 4枚
- 976 **周恩来総理と日本社会党黒田寿男氏らとの談話記録**  
 石野久男  
 活版 1964年7月19日 1冊

### ●挨拶・演説等草稿

- 977 **日本社会党第四次訪中使節団メッセージ〔草稿〕**  
 日本社会党第四次訪中使節団  
 活版・ペン 1964年10月14日 1枚
- 978 **〔日本社会党使節団北京空港到着時の団長挨拶 草稿（1）〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 8枚

- 979 **〔日本社会党使節団北京空港到着時の団長挨拶 草稿(2) 〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 9枚
- 980 **〔最近の国際情勢、アジア情勢について(演説草稿カ)〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月カ] 16枚
- 981 **〔演説草稿カ(核問題について) 〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月カ] 9枚  
 第二. 核兵器の問題、とくにその全面禁止と完全廃棄及びこれを見解とする世界諸国首脳会議開催を促進する問題について
- 982 **〔演説草稿カ(日中友好、日中国交回復について) 〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月カ] 7枚
- 983 **イギリス労働党の勝利について**  
 ペン 原稿用紙 [1964年] 2枚  
 日本社会党の見解 草稿
- 984 **フルシチョフ首相の辞任について**  
 ペン 原稿用紙 [1964年] 1枚  
 日本社会党の見解 草稿
- 985 **〔日本社会党訪中使節団 帰国挨拶 草稿〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 10枚  
 日本社会党第四次訪中使節団帰国後の挨拶

## ●中国核実験関係

- 986 **部分核停条約に対する党の態度**  
 日本社会党中執  
 活版 1963年8月27日 1枚  
 中執決定(1963. 8. 27)
- 987 **中国の核実験について**  
 ペン 原稿用紙 [1964年] 3枚  
 日本社会党の見解 草稿
- 988 **共同通信東京十七日ニュース〔配信記事筆記〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 2枚  
 中国核実験に対する日本政府の反応について

- 989 **JPA東京十七日発〔配信記事筆記〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 3枚  
 中国核実験に対する日本国内の反応について
- 990 **新華社東京十七日発〔配信記事筆記〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 1枚  
 中国核実験に関する自民党衆議院議員宇都宮徳馬談話
- 991 **ドイツ通信東京十七日ニュース〔配信記事筆記〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 1枚  
 中国核実験に対する日本における反応について
- 992 **新華社東京二十一日発〔配信記事概要筆記〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 2枚  
 中国核実験に関する日本自民党国会議員松村謙三談話
- 993 **〔中国核実験についての佐々木更三氏発言メモ〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年] 2枚
- 994 **〔中国核実験に対する佐々木更三氏発言関連メモ〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年] 2枚

## ●会合

- 995 **訪中記録（第四次訪中使節団）**  
 ペン ノート 1冊  
 会談・会議・会合記録  
 付：中国人民外交学会代表团〔構成人名一覧〕〔ノート1頁目に挟まれていたもの〕  
 1枚
- 996 **〔1964年10月21日第二回会合カ発言記録〕**  
 ペン [1964年10月21日カ] 7枚  
 その場で書き留めた速記録か、後にまとめた発言記録（編集されたもの）か不明。休憩後の部分のみ。
- 997 **〔会合・会談記録類（一括）〕**  
 ペン 原稿用紙 [1964年10月] 57枚  
 勝間田・小林・趙尚会談メモ 成田・廖会談メモ、成田・廖会談メモ、最終使節団会議メモ他

## ●共同声明

### 998 資料 日本社会党と中国との共同声明

日本社会党

活版

1964年9月25日

1冊

(1) 社会党訪中親善使節団と中国側との共同声明（全文）（一九五七・四・二二）

(2) 日本社会党訪中使節団団長浅沼稻次郎と中国人民外交学会会長張奚若  
共同コミュニケ（一九五九・三・一七）

(3) 日本社会党「安保会」訪中議員団と中国外交学会との共同討議書  
（一九六二年十月十三日）

### 999 日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会 共同声明〔草稿1〕

カーボン

〔1964年〕

16枚

### 1000 〔日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会 共同声明（草稿2）〕

ペン 原稿用紙

〔1964年〕

1綴

付：〔草稿（部分）〕 1枚

### 1001 日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会との共同声明〔草稿3〕

ペン 原稿用紙

〔1964年〕

29枚

### 1002 日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会 共同声明〔草稿4〕

活字

1964年10月

6枚

### 1003 日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会 共同声明〔原稿〕

活字

1964年10月

7枚

### 1004 日本社会党第四次訪中使節団・中国人民外交学会 共同声明

活字

1964年10月29日

7枚

## ●報告

### 1005 訪ソ訪中使節団報告

活字

〔1964年〕

3枚

## ●その他

### 1006 〔JPA東京十六日発（配信記事概要）〕

ペン 原稿用紙

〔1964年10月〕

4枚

フルシチョフ退陣について宮本顕治見解。

### 1007 新華社東京十六日発〔配信記事筆記〕

ペン 原稿用紙

〔1964年10月〕

2枚

フルシチョフ退陣に対する日本国内の反応について

|      |  |             |    |
|------|--|-------------|----|
| 1008 | 〔周恩来総理の核廃棄に関する電報声明について（記事筆記カ）〕<br>ペン 原稿用紙                      |             | 3枚 |
| 1009 | 北京国際口口球邀請賽各国運動員号碼対照表<br>活版                                     |             | 1枚 |
| 1010 | 人民日報 第5490号<br>活版<br>浅沼稻次郎逝去四周年関係記事                            | 1964年10月13日 | 1部 |
| 1011 | Hongkong Standard 香港虎報 (page 1, 2, 7, 8) Vol. 16 No. 284<br>活版 | 1964年10月15日 | 1枚 |
| 1012 | 人民日報 第5944号<br>活版<br>記事「日本社会党第四次訪華代表团到京」あり                     | 1964年10月17日 | 1枚 |
| 1013 | 成田・周会談の全容〔朝日新聞記事〕<br>活版<br>第四次社会党訪中使節団関連                       | 1964年10月19日 | 2枚 |
| 1014 | 人民日報 第5947号<br>活版<br>記事「日本政府和社会党意表示「講義」」あり                     | 1964年10月20日 | 1枚 |
| 1015 | 北京周報 第42号<br>北京周報社<br>活版                                       | 1964年10月20日 | 1部 |
| 1016 | 〔整理封筒〕<br><br>「一九六四年十月 第四次訪中団関係」と記載。資料番号975-1003、1005-1015を収納。 |             | 1枚 |



## 1970年 五カ国訪問関係（ソ連・東独・朝鮮・ベトナム・中国）

### ●ソ連・東独

#### 1017 〔訪ソ・東欧関係メモ〕

石橋政嗣

ペン 手帖

[1970年6月18日ー]

1冊

日誌、代表団会議要旨、訪ソ・東欧時会談要旨、回顧

付：(1) [五カ国訪問に関する記者への談話準備メモ 石橋正嗣カ] [1970年] 便箋5枚

(2) [五カ国訪問の意義についてのメモ 石橋政嗣カ] [1970年] 便箋1枚

(3) [外交活動メモ 石橋政嗣カ] [1970年] 便箋1枚

(4) ウルブリヒト会談要旨 [1970年] 1枚

(5) 五カ国訪問携帯品メモ [石橋政嗣] [1970年] 1枚

#### 1018 日本社会党およびソ連共産党の両党代表団の会談にかんする共同声明 〔原稿コピー〕

ペン (コピー)

1970年7月19日

4枚

#### 1019 〔日本社会党代表団およびドイツ社会主義統一党中央委員会代表団との 会談にかんする〕共同コミュニケ (案)

ペン

[1970年]

8枚

#### 1020 日本社会党代表団およびドイツ社会主義統一党中央委員会代表団との 会談にかんする共同声明・GEMEINSAMES

ペン・活字

1970年7月24日

8枚

#### 1021 Thirteenth Plenum of the Central Committee of the Socialist Unity Party of Germany

Information Service of the Socialist Unity Party of Germany

活版

1970年6月

1冊

### ●朝鮮

#### 1022 手帖〔訪朝代表団関係日誌・会談記録〕

石橋政嗣

ペン 手帖

1970年7月28日ー8月21日

1冊

訪朝時 (8月12日～月末) とその準備段階のメモ調の日誌、金総書記との会談記録

#### 1023 〔訪朝時の印象メモ〕

〔石橋政嗣〕

ペン

[1970年8月]

3枚

- 1024 **〔朝鮮対外文化連絡協会による日本社会党代表団歓迎スピーチ（邦訳）〕**  
 活字 [1970年] 7枚
- 1025 **日本社会党と朝鮮労働党との共同コミュニケ〔『社会新報』第1357号（(1) (2) (7) (8)面）〕**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1970年9月9日 1枚
- 1026 **朝鮮民主主義人民共和国訪問記〔原稿〕**  
 石橋政嗣  
 ペン 原稿用紙 [1970年] 10枚

●中国

- 1027 **周恩来書翰 日本社会党中央執行委員会委員長成田知巳宛**  
 周恩来  
 活字 1970年10月15日 1枚  
 代表団訪中歓迎他  
 付：邦訳 ペン 4枚、 封筒 1枚
- 1028 **日中友好協会書翰 成田知巳（日本社会党執行委員会委員長）宛**  
 日中友好協会  
 活字、ペン 1970年10月19日 1枚  
 代表団来訪同意。邦訳書込あり
- 1029 **手帖〔訪中日誌・会談記録〕**  
 〔石橋政嗣〕  
 ペン 手帖 1970年10月16日－11月1日 1冊  
 付：新聞切抜 2枚
- 1030 **日本社会党第五次訪中代表団と中国日本友好協会代表団との共同声明（案）**  
 カーボン [1970年] 11枚
- 1031 **日本社会党第五次訪中代表団と中国日本友好協会代表団との共同声明**  
 日本社会党第五次訪中代表団団長成田知巳、副団長石橋政嗣、中国日本友好協会代表団団長郭沫若、副団長王国権  
 活版 6枚

●その他

- 1032 一連の外交活動を終って〔原稿〕  
〔石橋政嗣〕  
ペン 原稿用紙 1綴
- 1033 〔整理封筒〕 1枚  
「一九七〇年 五カ国訪問関係 ソ連・東独・朝鮮・ベトナム・中国」と記載。  
資料番号1018-1032を収納。

1974年9月21日-10月14日 ソ連・東欧訪問関係

- 1034 〔日ソ関係・国際情勢・東欧諸国国勢調査ノート〕  
ペン ノート [1974年] 1冊  
付：〔メモ〕 1枚
- 1035 〔各国代表団との会談メモ〕  
ペン メモ用箋 1冊  
ルーマニア、ソ連、ポーランド、ユーゴでの会談内容他
- 1036 ソ連共産党との会談 〔挨拶原稿〕  
石橋政嗣  
ペン 原稿用紙 [1974年] 48枚
- 1037 〔ソ連代表団との会談メモ (スースロフ書記の報告メモカ)〕  
鉛筆 ノート [1974年] 1冊
- 1038 日本社会党およびソ連共産党の両代表団の会談にかんする共同コミュニケ〔原稿〕  
ペン (コピー) 1974年10月11日 4枚
- 1039 日本社会党およびソ連共産党の両代表団の会談にかんする共同コミュニケ〔後半欠〕  
活字 1974年10月11日 1枚
- 1040 〔ポーランド訪問関係原稿・メモ〕  
ペン 原稿用紙 [1974年] 19枚  
(1)ポーランド統一労働者党との会談〔スピーチ原稿〕 8枚  
(2)〔会談の要点メモ〕 8枚  
(3)〔スピーチ原稿〕 1枚  
(4)〔質問事項〕 2枚

- 1041 **〔ユーゴスラビア訪問スピーチ原稿〕**  
 ペン 原稿用紙 [1974年] 11枚  
 (1) ユーゴスラビヤ社会主義勤労人民同盟との会談〔スピーチ原稿〕 9枚  
 (2) 〔要点メモ〕 2枚
- 1042 **〈ブルガリア—共産党〉〔スピーチ原稿〕**  
 ペン 原稿用紙 [1974年] 9枚  
 (1) 〔スピーチ原稿〕 7枚 (2) 要点メモ 2枚
- 1043 **〈ルーマニア—共産党〉〔スピーチ原稿〕**  
 ペン 原稿用紙 [1974年] 12枚  
 (1) 〔スピーチ原稿〕 10枚 (2) 要点メモ 2枚
- 1044 **〔整理封筒〕**  
 1枚  
 「一九七四年十月 ソ連・東欧訪問」と記載。資料番号1034-1043を収納。

## 1983年9月26日—10月2日 訪中関係

- 1045 **日本社会党第10次訪中代表団の派遣について**  
 〔日本社会党〕国際局  
 活字 1983年9月16日 1枚  
 代表団の構成・日程。中央執行委員会資料カ。
- 1046 **日本社会党第10次訪中代表団名簿**  
 活字 [1983年] 1枚
- 1047 **報道関係同行者**  
 ペン (コピー) [1983年] 1枚  
 氏名一覧
- 1048 **日本社会党と中国との交流経過**  
 ペン (コピー) 1983年9月4日 1枚  
 1957～1979年に行われた交流の一覧。
- 1049 **中国共産党組織図〔「外務省資料」87付属4〕**  
 活字 (コピー) 1983年7月現在 1枚
- 1050 **中国共産党と各国政党との関係回復・樹立状況**  
 活字 (コピー) [1983年] 1枚

- 1051 **中国共産党第8回—第12回大会（政治報告）における国際共産主義運動に関する言及ぶり**  
活字 8枚
- 1052 **〔手帖（胡耀邦総書記報告・中国政治・国勢調査等）〕**  
ペン 手帖 [1983年] 1冊  
 (1) 中国共産党第12回全国代表大会1982.9月1日胡耀邦総書記の報告  
 (2) 胡耀邦総書記談1983.8月（山内大介毎日社長）  
 (3) 第6次5ヵ年計画（1981-85）  
 (4) 日中友好の新たな課題（第1回日中民間人会議報告）坂本義和  
 (5) 中国孤児養父母の扶養費（厚生省試案）1983.8.20  
 (6) 中華人民共和国面積・人口・民族・全国人民代表・国民所得・通貨  
 (7) （1983年）9/20～9/30〔行程メモ〕  
 (8) 中国共産党組織図1983年7月現在  
 (9) 日本社会党と中国との交流経過  
 (10) 報道関係同行者  
 (11) 日本社会党第10次訪中代表団〔構成員氏名〕
- 1053 **〔中国到着の挨拶原稿・帰国前日の挨拶原稿〕**  
ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1983年9月] 7枚
- 1054 **中国共産党との会談に於ける日本社会党石橋政嗣中央執行委員長（团长）の発言**  
ペン 日本社会党中央本部原稿用紙（コピー） 1983年9月 15枚  
スピーチ原稿カ。第十次訪中代表団長としての挨拶。
- 1055 **社会党発言の要旨**  
ペン 罫紙（コピー） 1983年9月 4枚  
中国共産党との会談時。資料番号1054の要旨。
- 1056 **〔会談でのスピーチ原稿カ〕**  
ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙 [1983年] 12枚  
（コピー）  
一、日中友好関係その他 二、外交防衛問題 三、中ソ関係 四、世界と日本の情勢 五、平和と進歩のために
- 1057 **〔会談における胡啓立代表、喬石書記候補発言メモ〕**  
鉛筆 [1983年9月27日—] 19枚  
〔胡啓立代表（7枚）、喬石書記候補（11枚）〕
- 1058 **胡耀邦総書記との会談メモ**  
ペン [1983年] 3枚  
訪中の意義と成果に関するメモ

|      |  |               |     |
|------|--|---------------|-----|
| 1059 | 〔日本社会党代表团团长スピーチ原稿〕<br>ペン 日本社会党代議士会原稿用紙                               | [1983年]       | 10枚 |
| 1060 | 〔日本社会党代表团团长スピーチ原稿〕<br>ペン   | [1983年]       | 9枚  |
| 1061 | 日本社会党代表团歓迎レセプションにおける胡啓立同志のあいさつ〔邦訳〕<br>活字                             | [1983年9月27日カ] | 2枚  |
| 1062 | 出席歓迎日本社会党代表团招待会部分人員名单<br>活字<br>出席者氏名一覧                               | [1983年]       | 3枚  |
| 1063 | 日本社会党第十次訪中代表团主催答礼宴における石橋政嗣中央執行委員長のあいさつ〔原稿〕<br>ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 (コピー) | 1983年10月1日    | 10枚 |
| 1064 | 〔日本社会党第一次訪中代表团報告草稿〕<br>〔日本社会党〕国際局<br>ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 (コピー)          | 1983年10月6日    | 5枚  |
| 1065 | 〔整理封筒〕<br><br>「一九八三年九月廿六日—十月二日 訪中関係」と記載。資料番号1045—1064を収納。            |               | 1枚  |

## 1984年4月7日—17日 訪米関係

|      |  |            |    |
|------|--|------------|----|
| 1066 | 訪米に当って<br>ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙  | 1984年3月13日 | 5枚 |
| 1067 | 〔三者会談（朝鮮民主主義人民共和国、大韓民国、米国についての見解）〕<br>ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙<br>訪米にあたり、外交時事に対する見解の要点をまとめたもの。三者会談（南北朝鮮・米）、日本および日本社会党の対北朝鮮外交。 | [1984年]    | 4枚 |

- 1068 **〔同行記者氏名一覧〕**  
活字 1枚
- 1069 **“Optimistic Leader Is Giving Japanese Socialist Party a Face Lift”** **〔The Washington Post 記事コピー〕**  
活版（コピー） 1984年4月9日 1枚
- 1070 **〔米国外交に対する意見・質問事項〕**  
ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙 [1984年] 11枚  
朝鮮問題、軍事問題（安保、核軍縮等）等について米国への意見・質問などを簡条書にした原稿。
- 1071 **〔石橋講演の招待状（講演題目：Toward a New U.S.-Japan Partnership — the View of the Japan Socialist Party —）〕**  
The Foreign Policy Association, Japan Society  
活字 [1984年] 4月12日講演 1枚
- 1072 **（新しい）、もう一つの友好関係を目指して〔講演原稿〕**  
日本社会党中央執行委員長石橋政嗣  
ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙（40枚）、コピー（1枚） [1984年] 41枚  
4月12日講演会の原稿。  
付：〔講演題目検討メモ〕 1枚
- 1073 **（新しい）もう一つの友好関係を目指して〔講演原稿〕**  
日本社会党中央執行委員長石橋政嗣  
ペン [1984年] 17枚  
4月12日講演会の原稿。
- 1074 **〔新しい日米関係をめざして（講演原稿）〕**  
〔石橋政嗣〕  
ペン・活字（コピー） [1984年] 9枚  
4月12日講演会の原稿。
- 1075 **A SPEECH BY THE CHAIRMAN OF THE JAPAN SOCIALIST PARTY  
MASASHI ISHIBASHI TOWARDS A NEW U.S.-JAPAN PARTNERSHIP  
— THE VIEW OF THE JAPAN SOCIALIST PARTY —**  
活字 1984年4月12日 10枚
- 1076 **日程表**  
活字・ペン（コピー） [1984年] 7枚  
(1) 日本社会党訪米代表団日程 1984年4月17日 活字（コピー） 5枚  
(2) 婦人関係記録〔日程〕 ペン（コピー） 2枚

- 1077 **日本社会党訪米代表团日程**  
活字 1984年4月18日 3枚
- 1078 **〔整理封筒〕**  
「一九八四年四月七日－十七日 訪米関係」と記載。資料番号1066－1077を  
収納。 1枚

### 1984年9月17日－22日 訪朝関係

- 1079 **第八次訪朝代表团報告書 日本社会党朝鮮問題対策特別委員会**  
活字（コピー） 1984年5月 1綴  
1984年4月27日～5月1日に広瀬秀吉を団長とする訪朝団が朝鮮労働党代表团と  
会談。その報告書。
- 1080 **海外派遣について**  
活字 1984年8月30日 1枚  
第四六回中央執行委員会資料カ。訪朝団の派遣、スウェーデン社会党大会への  
派遣、参議院議員海外派遣、他
- 1081 **朝鮮民主主義人民共和国訪問にあたって**  
日本社会党中央執行委員長石橋政嗣  
活字 1984年9月4日 1枚
- 1082 **〔訪朝団行程メモ〕**  
ペン又は鉛筆 『社会新報』原稿用紙（コピー） 1984年9月17日－22日 2枚
- 1083 **〔金日成との会談メモ〕**  
ペン 4枚  
キッシンジャーへの伝言13項目他
- 1084 **〔会談中発言メモカ〕**  
ペン・鉛筆 日本社会党代議士会野紙、他 21枚  
日本側発言と思われる「共和国の参加を助けたい・・・」、北朝鮮側発言らしき  
「我々は南進できない・・・」他。
- 1085 **〔会談における朝鮮民主主義人民共和国側発言メモカ〕**  
ペン 2枚



- 1086 **〔歓迎宴における挨拶原稿〕**  
ペン 原稿用紙 [1984年9月18日カ] 19枚
- 1087 **〔答礼宴における挨拶原稿〕**  
ペン・鉛筆 社会党中央本部原稿用紙 [1984年9月21日カ] 1綴 (12枚)
- 1088 **「金日成 石橋政嗣委員長を団長とする日本社会党代表団歓迎宴での演説」**  
活字 [1984年9月18日] 1冊
- 1089 **「金日成 日本社会党石橋政嗣中央執行委員長が催した宴会での演説」**  
活字 [1984年9月21日] 1冊
- 1090 **石橋政嗣委員長を団長とする日本社会党代表団の朝鮮民主主義人民共和国滞在日程**  
活字 1984年9月 1冊  
日朝二国語
- 1091 **訪朝代表団の主要日程**  
活字 1984年9月26日 1枚  
中央執行委員会資料カ。
- 1092 **〔訪朝の印象・考察記録〕**  
ペン・鉛筆 日本社会党代議士会野紙 4枚
- 1093 **朝鮮民主主義人民共和国訪問**  
ペン ルーズリーフ 1綴  
訪朝の印象・考察、報告記録
- 1094 **〔金日成挨拶状 石橋政嗣宛〕**  
朝鮮労働党中央委員会総書記金日成  
活字 1985年1月6日 1枚  
アジア競技大会への選手団派遣
- 1095 **「金日成主席誕生祝いに“書”贈る」** 〔『社会新報』第2804号切抜〕  
日本社会党中央本部機関紙局  
活版 1985年3月26日 1枚
- 1096 **〔整理封筒〕**  
1枚  
「一九八四年九月十七日—二十二日 訪朝関係資料」と記載。資料番号1079—1095を収納。

- |      |   |             |    |
|------|---|-------------|----|
| 1097 | <b>朝鮮新報</b><br>活版   | 1978年10月21日 | 1部 |
| 1098 | <b>〔労働新聞〕</b><br>朝鮮労働党中央委員会<br>活版                               | 1984年9月19日  | 1部 |
| 1099 | <b>〔労働新聞〕</b><br>朝鮮労働党中央委員会<br>活版                               | 1984年9月20日  | 1部 |
| 1100 | <b>〔労働新聞〕</b><br>朝鮮労働党中央委員会<br>活版                               | 1984年9月21日  | 1部 |
| 1101 | <b>社会新報 第2756号</b><br>作成・著編者<br>日本社会党中央本部機関紙局<br>活版<br>石橋訪朝関係記事 | 1984年9月28日  | 1部 |
| 1102 | <b>毎日新聞（夕刊） (1)・(2)面</b><br>毎日新聞社<br>活版<br>1988年社会党代表団関係記事      | 1988年9月13日  | 1枚 |
| 1103 | <b>〔整理封筒〕</b>   |             | 1枚 |
|      | 「訪朝関係資料 一九八四年九月 掲載紙」と記載。資料番号1097－1102を<br>収納。                   |             |    |

### 1985年9月14日－26日 ソ連・東独訪問関係

- |      |   |         |    |
|------|---|---------|----|
| 1104 | <b>「一九七四年十月十一日 日本社会党およびソ連共産党の両代表団の<br/>会談にかんする共同コミュニケ」</b><br>活版（コピー） | 1974年   | 2枚 |
| 1105 | <b>日本社会党代表団とソ連共産党代表団との会談要旨（共同新聞発表）</b><br>活字                          | 〔1978年〕 | 1枚 |

- 1106 **ソ連共産党中央委員会より日本社会党中央執行委員会にたいする書簡**  
 活字 1985年3月 2枚  
 ソ連共産党中央委員会からの書翰を邦訳したペーパー。
- 1107 **日本社会党中央執行委員会からソ連共産党中央委員会への返書**  
 日本社会党中央執行委員会  
 活字（コピー） 1985年4月18日 1枚
- 1108 **M. S. ゴルバチョフ・ソ連共産党中央委員会書記長の声明**  
 活版（コピー） [1985年7月29日] 1枚
- 1109 **日本社会党訪ソ・訪独代表団の派遣について**  
 [日本社会党] 国際局  
 活字 1985年8月22日 1枚  
 代表団の構成・日程。中央執行委員会資料カ。
- 1110 **ソ連書記長の親書全文 一九八五年九月三日 [新聞記事切抜]**  
 活版 1985年9月 1枚
- 1111 **[日本社会党訪ソ・訪独代表団 同行記者団一覽]**  
 活字（コピー） [1985年] 1枚  
 氏名・性別・所属社名の一覽
- 1112 **ミハイル・ゴルバチョフの略歴**  
 コピー 198□年 1枚
- 1113 **ソ連共産党指導部**  
 活字 [1985年カ] 3枚  
 政治局員・政治局員候補・書記の人名・生年月日・年齢・主たる現職の表。
- 1114 **日ソ間の諸問題—日ソそれぞれの立場—（過去の日ソ会談における緒論の中から代表的な発言の趣旨を集めたもの）**  
 活字 [1985年] 4枚  
 北方領土問題、核不使用協定、墓参、ソ連外相の訪日、他
- 1115 **漁業関係について**  
 ペン（コピー） [1985年] 2枚  
 日ソ漁業経済協力協定、昆布漁業協定等. につき対ソ要望、検討事項等。
- 1116 **[北方領土への日本人墓参について]**  
 ペン 日本社会党政策審議会野紙 4枚  
 ソ連政府に対し、国後島墓参のお願い文の原稿

- 1117 **〔ソ連での会談時スピーチメモ〕**  
 ペン [1985年] 11枚  
 ゴルバチョフ書記長との会談（9月16日）の際のスピーチ。内容の要点箇条書。
- 1118 **政治会談メモ〔1〕**  
 ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1985年] 42枚  
 ソ連での会談時スピーチ原稿カ。
- 1119 **政治会談メモ〔2〕**  
 ペン 原稿用紙 [1985年] 30枚  
 ソ連での会談時スピーチ原稿カ。
- 1120 **「日本社会党とソ連共産党との会談に関する共同声明」**  
 ペン又は鉛筆（コピー） [1985年] 10枚  
 草稿カ。
- 1121 **〔東独訪問時のスピーチ要点メモ〕**  
 ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙 [1985年] 4枚  
 （コピー）
- 1122 **〔東独訪問時のスピーチ原稿〕**  
 石橋政嗣  
 ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1985年] 11枚
- 1123 **日本社会党訪ソ訪独代表団の日程（一九八五年九月十四日－九月二十五日）**  
 ペンまたは鉛筆（コピー） [1985年] 3枚
- 1124 **〔訪ソ・訪独会談時メモ〕**  
 ペン ルーズリーフ 1綴  
 ゴルバチョフ書記長の発言 ゴルバチョフ書記長の印象 ゴルバチョフ体制  
 （安定度、指導力） ホーネッカー書記長の発言 日ソ共同声明 他
- 1125 **〔訪ソ・訪独会談時メモ〕**  
 ペン 罫紙 13枚
- 1126 **〔整理封筒〕**  
 「一九八五年九月十四日－二十六日 ソ連・東独訪問、ソ連関係」と記載。資料番号1104－1125を収納。 1枚

●新聞記事他 東独

- 1127 **日本社会党訪ソ・訪独代表団の派遣について**  
〔日本社会党〕国際局  
活字 1985年8月22日 1枚  
代表団の構成、日程。中央執行委員会資料カ。
- 1128 **Berliner Zeitung**  
活版 1985年9月24日 1部  
石橋・ホーネッカー会談
- 1129 **Meinungsaustausch mit der Delegation der SP Japans [Der Morgen 記事コピー]**  
活版(コピー) 1985年9月24日 1枚  
石橋訪独関係記事
- 1130 **DDRの日程**  
ペン(コピー) [1985年9月] 1枚  
9月21日-25日東独でのスケジュール(予定)。DDR=Deutsche Demokratische Republik(ドイツ民主共和国)。
- 1131 **〔会談メモカ〕**  
ペン [1985年9月] 3枚
- 1132 **〔訪ソ・訪独関係資料綴〕**  
活字、ペン、コピー 6枚  
(1)日本社会党訪ソ・訪独代表団 ITINERARY 活字 1枚  
(2)日本社会党訪ソ訪独代表団出発日の予定 ペン又は鉛筆(コピー) 1枚  
(3)〔石橋・ホーネッカー会談発言メモカ〕 [1985年9月23日カ] ペン 4枚
- 1133 **日本社会党とドイツ社会主義統一党との共同声明 [草稿]**  
ペン又は鉛筆 日本社会党本部原稿用紙(コピー) [1985年9月] 21枚
- 1134 **日本社会党とドイツ社会主義統一党との共同声明 [記事コピー]**  
[1985年9月] 1枚  
1985年9月23日、於ベルリン。
- 1135 **Neues Deutschland 記事**  
Neues Deutschland  
活版 1985年9月23日 1部  
石橋訪独関係記事

- 1136 **Abordnung der SP Japans weilt Besuch in der DDR** **〔Neues Deutschland記事コピー〕**  
 Neues Deutschland  
 活版（コピー） 1985年9月23日 1枚  
 石橋訪独関係記事
- 1137 **Neues Deutschland 記事**  
 Neues Deutschland  
 活版 1985年9月24日 1部  
 石橋・ホーネッカー会談
- 1138 **〔Neues Deutschland記事コピー〕**  
 Neues Deutschland  
 活版（コピー） 〔1985年9月23－24日〕 4枚  
 石橋訪独関係記事
- 1139 **Neues Deutschland**  
 Neues Deutschland  
 活版 1985年9月25日 1部  
 石橋訪独関係記事
- 1140 **〔整理封筒〕**  
 「訪東独関係資料 新聞記事」と記載。資料番号1127－1139を収納。 1枚
- 新聞記事他 ソ連**
- 1141 **П р а в д а** **〔プラウダ〕**  
 活版 1985年3月14日 1部
- 1142 **П р а в д а** **〔プラウダ〕**  
 活版 1985年9月17日 1部  
 石橋・ゴルバチョフ会談
- 1143 **П р а в д а** **〔プラウダ記事および邦訳コピー〕**  
 活版 1985年9月15日－17日 7枚  
 9月15日「日本社会党代表団到着」、9月16日「日本社会党代表団の足どり」、  
 9月17日「ゴルバチョフ書記長、日本社会党代表団と会談」
- 1144 **〔ソ連・東独訪問関係記事コピー〕**  
 活版（コピー） 〔1985年〕9月16－26日 25枚
- 1145 -1 **ゴルバチョフ書記長印象記**  
 石橋政嗣  
 ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 〔1985年〕 5枚

- 1145 -2 **ゴルバチョフ書記長との四時間の会談を終えて**  
 石橋政嗣  
 ペン 原稿用紙 [1985年] 9枚
- 1145 -3 **どこの核にも反対の願いをこめて**  
 [石橋政嗣]  
 ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1985年] 10枚
- 1145 -4 **ソ連・東独訪問の旅を終えて**  
 石橋政嗣  
 ペン 日本社会党中央本部罫紙 [1985年] 6枚
- 1145 -5 **〔無題原稿1〕**  
 ペン 日本社会党政策審議会原稿用紙 [1985年] 15枚
- 1145 -6 **〔無題原稿2〕**  
 ペン 読売新聞編集局FAX用原稿用紙 [1985年] 17枚
- 1145 -7 **〔整理封筒〕**  
 資料番号1145-1~6を収納。 1枚
- 1146 **堀昌雄レポート**  
 衆議院議員堀昌雄永年勤続表彰感謝の会実行委員会  
 活版 1986年3月15日 1部  
 1985年訪ソ記録・写真。石橋・ゴルバチョフ会談に言及。
- 1147 **П р а в д а 〔プラウダ〕**  
 活版 1988年5月9日 1部  
 石橋紙上対談会
- 1148 **П р а в д а 〔プラウダ〕**  
 活版 1985年9月15日 1部
- 1149 **〔整理封筒〕**  
 「訪ソ関係新聞記事」と記載。資料番号1141-1148を収納。 1枚

## 1986年4月14日－23日 オーストラリア・ニュージーランド訪問関係

- 1150 石橋社会党中央執行委員長訪豪日程 昭和六十一年四月十五日～十九日  
オーストラリア外務省  
活版 1部
- 1151 石橋日本社会党委員長御一行NZ訪問日程（案）  
在ニュージーランド大使館  
活字 1986年4月18日 3枚
- 1152 オーストラリア、ニュージーランド訪問についての報告〔草稿〕  
ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 1986年4月 6枚  
報告のポイントを目次のような形で箇条書したもの。
- 1153 日本社会党オーストラリア、ニュージーランド訪問代表団の報告  
〔日本社会党〕国際局  
活字 1986年5月22日 5枚
- 1154 THE DOMINION  
活版 1986年4月23日 1部
- 1155 〔整理封筒〕  
2枚  
(1) 「オーストラリア・ニュージーランド」と記載。資料番号1150－1153を収納。  
(2) 「ニュージーランド新聞」と記載。資料番号1154及び(1)の整理封筒を収納。

## 1988年4月 プラウダ紙上討論会関係

- 1156 〔日本社会党の政策・運営に関する見解メモ〕  
〔石橋政嗣〕  
ペン 日本社会党代議士会野紙 [1988年] 7枚  
●野党の任務、●政治の現状、●政権を目指す（私の言うニュー社会党とは）、  
●連立・連合政府の樹立、●先ず来年の参議選で、●訪ソを前にして、●委員  
長は土井さん、●対韓政策を含め外交政策に自信を。
- 1157 〔スピーチ原稿カ 1〕  
ペン 日本社会党代議士会野紙 [1988年] 10枚



- 1158 **〔スピーチ原稿カ 2〕**  
 ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1988年] 23枚  
 核軍縮、INF全廃条約への言及あり
- 1159 **核なき世界を創る可能性と方法 プラウダ編集部主催の国際円卓会議**  
 活字 [1988年] 1綴
- 1160 **円卓会議（シンポジウム）**  
 ペン [1988年] 6枚  
 出席者名、石橋スケジュール、会議内容メモ
- 1161 **階級闘争より核廃絶〔新聞記事コピー〕**  
 活版（コピー） 1988年6月30日 1枚  
 ゴルバチョフ書記長見解の記事
- 1162 **今日のソ連邦 第31巻第16号（通巻709号）**  
 ソ連大使館広報部  
 活版 1988年8月15日 1部
- 1163 **「続・思想改造工場43 裏側からみる日本共産党 第9話 日ソ両共産党の対立激化（下）」 水島毅 〔世界日報記事コピー〕**  
 世界日報社  
 活版（コピー） 1988年カ 1枚
- 1164 **Известия 〔イズベスチャ〕**  
 活版 1985年3月13日 1部
- 1165 **Известия 〔イズベスチャ〕**  
 活版 1985年9月21日 1部
- 1166 **Правда 〔プラウダ〕 〔創刊号・複製カ〕**  
 活版 1912年4月22日 1枚
- 1167 **〔整理封筒〕**  
 3枚  
 (1) 「プラウダ紙上討論会関係」と記載。(2)、(3)の整理封筒を収納。  
 (2) 「プラウダ紙上討論会」と記載。資料番号1156-1163を収納。  
 (3) 「プラウダ掲載紙」と記載。資料番号1164-1166を収納。

## 1988年10月12日－16日 訪韓関係

### ●党内準備資料

- 1168 **〔想定問答集〕**  
 活字（コピー）・ペン [1988年] 3枚  
 日韓基本条約をどうみるか、社会党は北一辺倒ではないか、等
- 1169 **日韓関係についての見解**  
 〔土井たか子カ〕  
 ペン 土井たか子用箋（コピー） 1988年2月25日 5枚
- 1170 **中間報告**  
 韓国との友好・交流に関するプロジェクト主査 小野明  
 活字 1988年9月1日 1枚  
 中央執行委員会資料カ。
- 1171 **朝鮮植民地支配清算の課題と日朝関係**  
 和田春樹  
 活字（コピー） [1988年] 4枚

### ●韓国国勢等調査資料

- 1172 **共同声明 〔日韓議員連盟第八回総会〕**  
 活字・ペン（コピー） 1979年5月23日 3枚
- 1173 **〔日韓議員連盟資料綴〕**  
 活字（コピー） [1986年8月] 2枚  
 (1) 日韓議員連盟役員名簿（案） [1986年8月]  
 (2) 日韓議員連盟会員数 1986年8月26日
- 1174 **資料 盧泰愚について**  
 活字 1987年9月 1部
- 1175 **「社会党と朝鮮半島」略年表**  
 『社会新報』編集部  
 活字 1988年4月現在 6枚
- 1176 -1 **第四十三回国連総会一般討論演説における加賀美国連大使演説**  
 活字 1988年9月28日 7枚
- 1176 -2 **ハンギョレ論壇 李泳禧コラム**  
 ペン（コピー） 1988年7月31日 4枚  
 ハンギョレ新聞の記事および邦訳

- 1177 **〔韓国情勢資料〕**  
活字 [1988年カ] 9枚  
内政、経済
- 1178 **〔韓国国勢についての覚書〕**  
ペン ルーズリーフ [1988年] 1綴  
中国と韓国、盧泰愚大統領、韓国の民主化と統一、ソ連・東欧諸国と韓国、韓国経済、我々の立場、オリンピック後の韓国情勢、日本と韓国、中ソ等社会主義諸国と韓国、米国と韓国
- 1179 **韓国の政治動向**  
活字（コピー） 1988年5月19日 7枚  
盧泰愚政権の13回選挙敗北後の政治動向
- 1180 **資料(3) 党役員（新韓民主党）**  
活字 1枚  
氏名一覧

## ●韓国パンフレット

- 1181 **新韓民主党の全部(韓国問題翻訳パンフNo.2)**  
在日韓国青年同盟  
活字 1985年4月9日 1部  
「新東亜」85年3月号からの転載
- 1182 **資料 新韓民主党（新民党）について**  
活版 1986年3月 1部
- 1183 **資料 新韓民主党（新民党）について（コピー）**  
活版（コピー） 1986年3月 10枚
- 1184 **資料 韓国の主要人物**  
活版 1986年3月 1部

## ●1988年記事

- 1185 **石橋社会党全委員長に聞く 強化に向かう日米軍事同盟 基地包囲行動を評価** [沖縄タイムズ記事コピー]  
活版（コピー） 1988年2月29日 1枚

- 1186 盧大統領の「特別宣言」(全文) [統一日報記事コピー]  
活版(コピー) 1988年7月8日 1枚
- 1187 「「訪韓・必ず実現を」土井委員長・金新民主共和国総裁と会談」他  
[『社会新報』第3134号記事コピー]  
活版(コピー) 1988年8月19日 1枚  
(1)植民地支配清算の決議を  
(2)「訪韓・必ず実現を」土井委員長・金新民主共和国総裁と会談  
(3)8月15日にあたり、朝鮮半島政策について訴える 土井委員長がアピール
- 1188 特集 日本社会党と朝鮮半島 [『社会新報』第3101号記事コピー]  
日本社会党中央本部機関紙  
活版(コピー) [1988年] 1枚
- 1189 [日本社会党の外交方針関係]  
活版(コピー) [1988年] 2枚
- 1190 朝鮮問題についての日本共産党中央委員会常任幹部会の見解  
[赤旗記事コピー]  
日本共産党中央委員会  
活版(コピー) 1988年9月9日 3枚
- 1191 記者の眼 日本に於ける金泳三総裁 [東亜日報記事および邦訳コピー]  
活版、ペン(コピー) 1988年8月24日 4枚
- 1192 [朝鮮関係雑誌記事切抜]  
活版 [1988年9月] 11枚  
(1)特集・オリンピック後の半島情勢を占う [世界週報記事]  
[1988年9月29日] 9枚  
(2)INTERFACE 『日韓』『在日』 [朝日ジャーナル記事]  
[1988年9月9日] 2枚

●1986年訪韓論争関係記事

- 1193 [石橋政嗣・金泳三の会談概要]  
ペン(コピー) 1985年10月4日 2枚
- 1194 野党外交と超党外交—国内政治的視野で外交を行うべきでない—  
[東亜日報社説 邦訳コピー]  
ペン 原稿用紙(コピー) [1986年]5月21日 4枚

- 1195 超党的原則が欲しいー日本社会党の訪韓論争に寄せて〔朝鮮日報社説  
邦訳コピー〕  
ペン 原稿用紙 (コピー) [1986年] 5月22日 4枚
- 1196 内容のない外交ー 一体、日本社会党が何様だと 〔韓国日報社説  
邦訳コピー〕  
ペン 原稿用紙 (コピー) [1986年] 5月22日 4枚
- 1197 『南北対話』 第40号  
韓国国際文化協会 韓国国際文化協会  
活版 1986年4月10日 1部

### ●その他

- 1198 「在サハリン同胞の一時訪韓、永住帰国」他 〔統一日報記事コピー〕  
統一日報社  
活版(コピー) [1988年] 10月18日 1枚
- 1199 日韓議員連盟規約 〔コピー〕  
活字 (コピー) 1988年10月19日FAX 1枚
- 1200 〔整理封筒〕  
1枚  
「訪韓関係資料 準備段階」と記載。資料番号1168-1199を収納。

### ●訪韓日程・草稿類・報告

- 1201 〔石橋政嗣書翰草稿 金泳三宛 (2種類)〕  
石橋政嗣  
ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 1988年9月29日付 7枚
- 1202 「訪韓の目的」、「基本的な姿勢」 〔原稿〕  
〔石橋政嗣〕  
ペン 日本社会党中央本部原稿用紙 [1988年] 2枚  
「訪韓の目的」1枚、「基本的な姿勢」1枚
- 1203 旅程表 社会党韓国訪問団 〔案〕  
活字 [1988年] 1枚
- 1204 日本社会党石橋政嗣前委員長訪韓団名簿  
活字 [1988年] 1枚
- 1205 日本社会党石橋政嗣前委員長訪韓団同行記者団名簿  
活字 [1988年] 1枚

- 1206 **思うぞんぶん 社会党前委員長石橋政嗣氏韓国訪問** 【毎日新聞記事  
切抜】  
毎日新聞社  
活版 1988年8月2日 1枚
- 1207 **訪韓を前に石橋前社会党委員長に聞く** 【朝日新聞記事コピー】  
朝日新聞社  
活版(コピー) [1988年10月] 1枚  
「植民地」の反省表明へ 日韓条約、存在は認める
- 1208 **韓国訪問に当たって** 【草稿1】  
日本社会党前委員長石橋政嗣  
活字 1988年10月12日付 2枚  
金浦空港における声明
- 1209 **韓国訪問に当たって** 【草稿2】  
日本社会党前委員長石橋政嗣  
活字・ペン 1988年10月12日付 2枚  
金浦空港における声明
- 1210 **統一民主党主催レセプションにおける石橋政嗣団長あいさつ**  
ペン 財政金融旬報用箋(コピー) 1988年10月12日 8枚
- 1211 **〔石橋一盧泰愚大統領会談時の記者メモ〕**  
ペン 朝日新聞社原稿用紙(コピー) [1988年10月] 6枚
- 1212 **石橋訪韓 <会談メモ>**  
ペン・鉛筆 日本社会党中央本部原稿用紙 [1988年10月] 20枚  
相手方の発言のポイントのみ
- 1213 **〔訪韓終了時の挨拶原稿綴〕**  
ペン、活版 財政金融旬報用箋、原稿用紙、コピー 1988年 15枚  
(1) 韓国訪問を終えるに当たって(1988年10月16日)〔挨拶原稿〕  
日本社会党前委員長石橋政嗣 ペン 財政金融旬報用箋 10枚  
(2) 〔訪韓終了の挨拶ポイント〕 [1988年10月] ペン 原稿用紙 4枚  
(3) 停電案内と時計の調整についてのお願ひ 活版(コピー)  
Hotel Shilla 1枚
- 1214 **記者手帳 石橋の献花** 【朝鮮日報記事および邦訳コピー】  
活版、活字(コピー) 1988年10月15日 2枚
- 1215 **石橋政嗣日本社会党前委員長を団長とする訪韓団の報告**  
日本社会党中央執行委員会  
活字 1988年10月20日 3枚  
中央執行委員会資料カ

- 1216 石橋政嗣・前社会党委員長を団長とする訪韓団 —訪韓報告—  
 団事務局  
 活字 [1988年] 15枚
- 1217 石橋政嗣日本社会党前委員長訪韓団・日程  
 活字 1988年10月18日 2枚
- 1218 インタビュー「金泳三韓国民主党総裁に聞く」  
 活字（コピー） 1988年10月17日 2枚  
 共同通信配信記事ファックス送信資料。政治デスクから野党クラブ宛。
- 1219 〔朝鮮半島政策関係資料綴〕  
 活字（コピー） 1988年12月 2枚  
 (1)石橋訪韓団にかかわる懸案事項 1988年12月2日 10枚  
 (2)朝鮮半島政策に関する特別委員会の設置について 1988年12月1日 1枚
- 1220 〔整理封筒〕  
 「1988年10月12日－16日 訪韓関係資料 出発から報告まで」と記載。資料  
 番号1201－1219を収納。 1枚

## ●パンフレット・新聞等

- 1221 KEY PARTY OFFICIALS  
 The Democratic Justice Party  
 活版 1988年7月 1部  
 パンフレット（党幹部写真、名前、略歴）
- 1222 Democratic Justice Party  
 活版 1988年 1部  
 パンフレット（要覧）
- 1223 尹吉重代表委員略歴  
 民主正義党  
 活版 [1988年] 1部  
 パンフレット
- 1224 BASIC DOCUMENTS  
 THE PARTY FOR PEACE AND DEMOCRACY  
 活版 [1987年カ] 1冊  
 平和民主党基本資料集（声明、宣言、綱領、政策集）

- 1225 **Keynote Address**  
 Party for Peace and Democracy President Kim Dae Jung  
 活版 1988年6月29日 1部  
 第142国会金大中演説（英文）。
- 1226 **President Kim Dae Jung's Speech Before the national Press Club of the Philippines**  
 Party for Peace and Democracy  
 活版 1988年8月19日 1部  
 1988年8月19日マニラにおけるスピーチ。
- 1227 **Kim Dae Jung Conscience in Action**  
 Choi Woon-Sang & Hahn Hwa-gap Chungdo Publishing Co. (図書出版青島)  
 活版 1988年 1冊
- 1228 **KIM DAE JUNG President The Party for Peace and Democracy**  
 活版 1部  
 リーフレット
- 1229 **KIM DAE JUNG [金大中肖像写真カード]**  
 1枚
- 1230 **A Proposal For Korean Unification In Three Stages -How We Can Move Toward a Union of Republics**  
 KIM DAE JUNG [金大中]  
 活版 [1989年カ] 1冊
- 1231 **P.P.D The Party for Peace and Demodrcacy [フォルダのみ]**  
 1部
- 1232 **「新たな日韓関係を 石橋前社会党委員長が手記」他 [熊本日日新聞(カ)記事コピー]**  
 活版(コピー) 1988年10月17日 1枚  
 「新たな日韓関係を 石橋前社会党委員長が手記」、「「政策見直しを進める」社会党石橋氏訪韓の成果を強調」、「年内にも土井訪韓」。
- 1233 **「韓国訪問を終えて一新しい関係構築へ第一歩」[長崎新聞(1)(2)(17)(18)面]**  
 活版 1988年10月18日 1枚



- 1234 **社会新報 第3150号**  
 発行者  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1988年10月18日 1部  
 石橋・盧泰愚会談の関係記事
- 1235 **社会新報 第3151号**  
 活版 1988年10月21日 1部  
 石橋訪韓関係記事
- 1236 **社会新報 第3152号**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1988年10月25日 1部  
 石橋寄稿あり「ニュー社会党にふさわしい機関紙活動の創造をめざそう」(1頁)
- 1237 **〔整理封筒〕**  
 3枚
- (1) 「一九八八年十月十二日－十六日 訪韓関係資料 新聞記事」と記載。  
 (2) ・ (3) の整理封筒及び資料番号1232－1236を収納。
  - (2) 「韓国関係 資料 民主正義党」と記載。資料番号1221－1223を収納。
  - (3) 「韓国関係 資料 平和民主党 石橋政嗣衆議院議員」と記載。  
 資料番号1224－1231を収納。

## 【講演録・パンフレット等】

### 選挙

- 1238 **選挙模範演説集（候補者専用）**  
日本社会党  
活版 1960年8月 1部  
一、新安保条約はなぜ悪いか 二、戦争への道 三、議会政治と社会党 四、労働者の生活を守ろう 五、池田内閣と農民 六、農村と政治 七、誰が中小企業を守るか 八、社会保障で安定した生活を
- 1239 **〔1983年衆議院選挙 日本社会党ビラ〕**  
日本社会党  
活字 [1983年] 1枚  
衆議院選挙日本社会党法定ビラ第三号
- 1240 **日本社会党都議会議員選挙公認予定候補者一覧**  
日本社会党都議選総合選対本部  
活版 [1984年カ] 1枚  
石橋寄稿あり 「都民のくらしと直結した都政を！！」（表紙）
- 1241 **高山真三選対ニュースNo. 3**  
活字 [1985年] 5月20日 1枚  
1985年東京都議会議員選挙出馬の高山真三の選対ニュース。「石橋委員長来る！中野区を最中点に 6月5日夜文化センターへ」というお知らせあり。
- 1242 **藤田十四三はげます会ニュース No. 6**  
藤田十四三はげます会  
活字 1985年6月23日 1枚  
石橋関係記事あり「石橋委員長迎え大成功一、勝利めざし、この力を本番へ！」〔6月19日総決起集会の記事〕

### メーデー

- 1243 **〔第43回メーデー宣伝ビラ〕**  
石橋政嗣  
墨書（印刷） 1972年5月1日 1枚
- 1244 **メッセージ〔第47回メーデー宣伝ビラ〕**  
石橋政嗣（日本社会党書記長）  
活字 1976年5月1日 1枚

## 日本社会党結党40周年記念

- 1245 **〔日本社会党結党40周年記念事業・行事案内状〕**  
日本社会党中央執行委員長石橋政嗣  
活字 1985年 2枚
- 1246 **結党40周年記念レセプション 式次第**  
日本社会党徳島県本部主催  
活版 [1985年] 1枚
- 1247 **〔日本社会党結党40周年記念講演会（5月11日於米子公会堂）ビラ〕**  
活版 [1985年] 1枚
- 1248 **〔日本社会党結党40周年記念講演会（5月11日米子公会堂）ビラ〕**  
**〔日本社会党メーデー・アピール〕**  
活版 [1985年] 1枚
- 1249 **〔日本社会党結党40周年記念講演会（5月11日於米子公会堂）ポスター〕**  
活版 [1985年] 1枚
- 1250 **〔日本社会党結党40周年記念講演会（6月22日於大分文化会館）ポスター〕**  
活版 1985年 1枚
- 1251 **〔日本社会党結党40周年記念大講演会（9月12日於鈴鹿市民会館）ポスター〕**  
活版 [1985年] 1枚
- 1252 **40年のあゆみ**  
日本社会党宮崎県本部  
活版 1985年9月7日 1部  
石橋関係記事あり (1)石橋の書道 (2)元参議院議員薄井康雄「石橋ニュー  
社会党に期待」
- 1253 **日本社会党結党四〇周年記念 石橋委員長を囲む秋田県民のつどい**  
日本社会党結党四〇周年記念事業秋田県実行委員会（主催）  
活版 [1985年11月23日] 1部

## 国会

- 1254 「日本の安全保障を問う 第一回石橋・中曽根論争」議事録〔第100回国会衆議院予算委員会議事録〕  
平和のつどい実行委員会  
活字 1983年9月19日 1部
- 1255 中曽根内閣不信任決議案  
活版 1983年11月28日提出 1部
- 1256 「故白濱仁吉先生に捧げる追悼のことば」(コピー)  
石橋政嗣  
ワープロ 1985年2月15日 3枚  
衆議院本会議場での追悼演説

## 講演・演説

- 1257 国民議会(案内)  
日本社会党長崎県本部  
活版 [1966年ヵ] 4月29日 1枚
- 1258 『日本の平和と安全』を求めて 三大政党立会演説会パンフレット  
慶応義塾大学弁論部  
活字 1968年5月25日 1部(3枚)  
講演案内(日本社会党代表として石橋参加)
- 1259 [東京教育大学大学祭(桐葉祭)パンフレット]  
活字 1968年5月31日-6月2日 1部  
石橋関係記事あり 「政策討論会 四野党に聞く 日本の安全保障問題」(10頁)
- 1260 平戸地区反安保討論集会における石橋政嗣社会党国際局長講演  
活字 1969年9月20日 1部
- 1261 昭和四十八年度東京四部布教講習会記録 現代人の心をとらえよう—  
生きがいを与える宗教—  
東京東部布教師会 東京四部宗務所  
ワープロヵ 1973年6月30日 1部  
石橋講演録「平和への提言」

- 1262 **読売国際経済懇話会会報 第25号**  
読売新聞社  
活版 1976年1月 1部  
石橋講演録あり 「三木政治批判と野党共闘」(14頁-21頁)(於第38回月例講演会、1975年12月7日)
- 1263 **「内外の情勢と労働者階級の任務 石橋政嗣前社会党本部書記長講演集録」**  
国鉄労働組合佐賀支部  
活版 1979年7月7日 1部
- 1264 **平和憲法が危機！〔講演パンフレット 「平和を考える三多摩市民の集い」於小金井市公会堂〕**  
日本社会党三多摩地区本部  
活字 1980年5月28日 同文2部  
石橋関係記事あり 「非武装中立の旗を高く掲げよう」
- 1265 **「80年代のわれわれの闘いと非武装・中立政策」〔石橋講演録〕**  
活字(ワープロ?) [1980年] 1部  
(1980年11月19日記念講演より)
- 1266 **「政局の真相と日本の進路 平和憲法が危い！！」〔石橋講演録 於舞鶴中央公民館〕**  
綾部平和センター発行  
ワープロ 1981年3月20日 同文2部
- 1267 **講演記録 石橋政嗣の非武装中立論**  
ペンカ 1981年6月1日 1部
- 1268 **いまこそ非武装中立を 日本社会党中央本部前書記長石橋政嗣山形講演集**  
平和と権利を守る山形県青年婦人集会実行委員会  
活版 1981年9月 1冊  
副題：再び日本の侵略戦争を許さないために
- 1269 **「この道はいつか来た道 石橋政嗣講演より」**  
平和と憲法を守る佐賀県民共闘会議  
活版 1981年9月 1部
- 1270 **ゆるすな戦前回帰 一九八二年六月十八日 大牟田市民館において 日本社会党副委員長 石橋政嗣代議士演説より**  
日本社会党大牟田総支部  
活字 1982年6月18日 同文2部

- 1271 **反核・護憲・平和を考える労働講座**  
 新産別  
 活字 1982年10月5日・6日 1部  
 石橋他3名の講演録 於熱海「金城館」 石橋講演録あり 「80年代われわれの闘いと非武装中立政策」 (1頁-4頁)
- 1272 **第2回反安保学校 反安保・護憲闘争の再構築をめざして**  
 長崎県労働組合評議会  
 活字 1982年11月13日-15日 1部  
 長崎県労働組合評議会の学習会教材、於島原。石橋講演レジュメあり 「軍国主義、政治反動化阻止の闘い」 (11頁-19頁)
- 1273 **'The Prospect of Japanese Politics in 1983 — A View of the Japan Socialist Party—' by Masashi Ishibashi A Member of House of Representatives IPSJ Papers No. 36**  
 IPSJ(The Institution Political Studies In Japan)  
 活版 [1983年] 1部  
 石橋講演録(英訳)  
 付：〔IPSJ送り状 石橋政嗣宛〕 1通
- 1274 **新しいもう一つの友好関係を目指して 【講演草稿】**  
 ペン 衆議院野紙 [1983年末カ] 27枚
- 1275 **北京都政経文化懇話会 八月例会ご案内**  
 活字 1983年カ 1枚  
 石橋の講演「私のめざすニュー社会党」の講演案内状 於舞鶴グランドホテル
- 1276 **日本社会党全国政策研究集会**  
 日本社会党中央執行委員会  
 活版 [1984年] 1部  
 1984年6月8日-9日 於箱根プリンスホテル 石橋報告抄録あり 「二十一世紀を共に生き、共に栄えるために」 (3頁-10頁)
- 1277 **誓いの言葉**  
 石橋政嗣  
 ワープロ (コピー) 1985年8月15日 1枚
- 1278 **終戦の日にあたって**  
 日本社会党  
 ワープロ 1985年8月15日 1枚
- 1279 **<やさしい社会>をめざして 第3回全国政策研究集会報告〔1986年5月14日於青山健保会館〕**  
 日本社会党政策審議会  
 活版 [1986年9月] 1部

- 1280 「許せません！公約違反の売上税」 【日本社会党演説会（3月13日  
於佐世保市民会館）ポスター】  
活版 [1987年] 1枚
- 1281 国際情勢と日本に於ける平和運動の課題 【石橋演説会（1988年12月  
6日講演）案内状】  
東京都八王子労政事務所  
活字（コピー） [1988年] 1枚
- 1282 国会開設100年記念シンポジウム「政治改革と国会移転を考える」  
毎日新聞社（主催）  
活版 [1990年] 1部  
パネリスト一覧、進行表  
付：(1)〔首都機能移転関係参考資料〕 1枚 (2)〔選挙制度関係参考資料〕 1枚  
(3)質問表 2枚
- 1283 憲法施行四三周年記念行動計画  
憲法擁護国民連合  
活字 [1990年] 1枚
- 1284 憲法施行四三周年記念集会次第  
憲法擁護国民連合（主催）  
活字 [1990年] 1部  
石橋演説（主催者代表挨拶）あり
- 1285 高知総支部創立30周年 記念講演会と祝賀会案内 【1993年11月25日  
於高知会館】  
日本社会党高知総支部  
活字 [1993年12月ヵ] 1部  
石橋の人物紹介あり（同講演講師）
- 1286 1994年労働大学春闘講座 受講のしおり 【1994年1月13日・14日、  
於自治労会館6階ホール】  
労働大学調査研究所  
活字 [1994年1月1日] 1冊  
石橋講演レジュメあり 「政治情勢／憲法・平和・民主主義と日本社会党」
- 1287 自治労長野県本部94春闘学習討論会 【1994年1月26日～27日於上  
山田温泉・ホテル圓山荘】  
自治労長野県本部  
活字 1994年1月26日～27日 1部  
石橋講演レジュメあり（6頁）

- 1288 94自治労沖縄県本部労働学校 [1994年7月15日・16日 於厚生年金  
休暇センター]  
自治労沖縄県本部  
活版 [1994年7月] 1部

## 石橋政嗣関係記事

- 1289 突然の辞任宣言に社会党内は右往左往 石橋政嗣氏の狙いは何だ!!  
〔『週間チャンネル』記事コピー〕  
活版 (コピー) [1982年11月] 1枚
- 1290 平和があぶない  
日本社会党長野総支部  
活字 1983年3月 1部  
石橋論文あり「平和の思想・平和の闘い 八三政治決戦に勝利し、逆流を阻止  
しよう」〔『月刊社会党』から転載〕
- 1291 選択 第9巻第8号(通巻102号) (記事コピー)  
選択出版株式会社  
活版 (コピー) 1983年8月1日 1枚  
石橋関係記事あり 「政情'83 連載42 石橋社会党」 (52頁-53頁)
- 1292 伊藤陸雄「非武装中立」の現実的対応を一注目あびた中曽根・石橋論  
戦」他 (部分カ)  
活版 [1983年] 2枚
- 1293 Weeks (記事コピー)  
日本放送出版協会  
活版 (コピー) 1991年2月1日 5枚  
石橋インタビューあり 「社会党よ、本気で政権を目指せ」 (52頁-60頁)  
(聞き手：NHK山本孝解説委員)
- 1294 週間時事 第45巻(通巻1654号) (記事コピー)  
時事通信社  
活版 (コピー) 1992年11月21日 同文2枚  
石橋寄稿あり 「いまこそ中国の「二つの体制」を率直に認めるべき時だ」  
(30頁-31頁)



- 1295 **Foresight 第4巻1号(通号35号) (記事コピー)**  
新潮社  
活版(コピー) 1993年1月16日 1枚  
石橋関係記事あり 「金泳三政権「対日人脈」の切り札は「金潤煥」 (11  
6頁-117頁)
- 1296 **エコノミスト第71巻第42号(通巻3086号) (記事コピー)**  
毎日新聞社  
活版(コピー) 1993年10月5日 2枚  
石橋寄稿あり 「社会民主主義の原点に戻って主体性確立を」 (59頁-61頁  
) (「社会党はどうしたら生き残れるか」特集の一部)
- 1297 **〔新聞切抜きコピー集〕〔「戦後50年 繁栄の死角 半世紀 日本は  
いま 第7部」(1)~(7)〕**  
活版(コピー) 1995年 8枚  
新聞切抜きコピー集  
(1) 「水俣病 原因ひた隠し 遅すぎた救済」 (「新潟日報」1995年7月28日)  
(2) 「四日市 発展の期待一転 操業後ぜんそく患者続出」  
(「長崎新聞」1995年7月4日)  
(3) 「青年教師が鉍害告発」 (「日本海新聞」1995年7月11日)  
(4) 「ハマチ大量死の瀬戸内海 赤潮乗り越え小魚漁」 (「茨城新聞」1995年7月13日)  
(5) 「公害Gメン 自ら現場歩き企業犯罪暴く」 (「新潟日報」1995年8月2日  
石橋の衆院予算委員会での発言収録)  
(6) 「止まらない巨大公共事業」 (「北日本新聞(夕刊)」1995年7月7日)  
(7) 「世界に訴える公害患者たち 生きている限り伝える」 (「山陰中央日報」  
1995年7月6日)

## その他

- 1298 **私の好きな言葉(月刊保険評論創刊25周年記念)**  
保険評論社編集部 保険評論社  
活版 1974年10月1日 1冊  
石橋寄稿あり 「真実一路の旅なれば真実鈴ふり思い出す」 (17頁)
- 1299 **〔成田知己・活動の記録(全三巻) 刊行案内リーフレット〕**  
成田知己追悼刊行会  
活字 1981年ヵ 1枚  
付: 成田知己追悼刊行会ご加入のお願い 成田知己追悼刊行会代表石橋政嗣  
活字 1枚
- 1300 **「非武装中立論」を学んで**  
木村栄一編集 山形県職員労働組合青年部米沢地区学習会  
謄写 1983年1月24日 1部

- |      |  |            |    |
|------|--|------------|----|
| 1301 | <b>'85 サトカンをささえる会</b><br>観友会連合会<br>活字<br>佐藤観樹衆議院議員関係の会合案内・石橋祝辞 | 1985年      | 1部 |
| 1302 | <b>護憲反安保10年の足跡</b><br>護憲反安保・平和とくらしを守る沖縄県民会議<br>活版              | 1988年2月23日 | 1部 |
| 1303 | <b>憲法を守れ 違憲の海外派兵（現代シリーズ4）</b><br>石橋政嗣 労働大学<br>活版               | 1992年4月30日 | 1冊 |
| 1304 | <b>組合結成40周年記念 写真が語る恩給職組</b><br>組合結成40周年記念事業実行委員会 恩給局職員組合<br>活版 | 1995年2月17日 | 1冊 |

## 【雑誌・新聞（石橋政嗣関係）】

- 1305 **アジア 第5巻第10号（通巻第50号）〔1970年11月号〕**  
 アジア評論社  
 活版 1970年10月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「社会党・北朝鮮共同声明とその背景 国際局長・石橋政嗣氏に聞く」（22頁-29頁）（聞き手：林健彦（サンケイ新聞・政治部））
- 1306 **安全センター情報 第159号**  
 全国労働安全衛生センター連絡会議  
 活版 1991年8月15日 1部  
 石橋弔辞あり 「故田尻宗昭・初代議長を偲ぶ」（16頁-17頁）  
 付：〔送付状 古谷杉郎（全国労働安全衛生センター連絡会議事務局長） 石橋政嗣宛〕 ワープロ 1枚
- 1307 **オルグ手帖 第230号**  
 全専売労働組合教宣部  
 活版 1981年1月5日 同文2部  
 石橋対談あり 「対談 平和と民主主義を守るために 全面軍縮・非武装中立こそ平和への道」（7頁-26頁）（対談者：山川暁夫）
- 1308 **オルグ手帖 第254号**  
 全専売労働組合教宣部  
 活版 1983年11月20日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「総選挙闘争に勝利して 中曽根の改憲行革を打ち破ろう」（10頁-14頁）
- 1309 **会報 第13号**  
 日本社会党をはげます会  
 活版 1979年3月25日 1部  
 石橋寄稿あり 「成田前委員長の御逝去を悼んで」（1頁-2頁）
- 1310 **学習運動資料 第62号**  
 学習運動資料編集委員会 社会タイムズ社  
 活版 1981年5月1日 同文2部  
 石橋講演録あり 「80年代危機と平和闘争（その一） 憲法と非武装」（4頁-13頁）（於社会党和歌山総支部党学校、1981年2月22日）
- 1311 **学習のひろば 第75号**  
 労働学習センター  
 活版 1968年5月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「直言/憲法への挑戦」（5頁）

- 1312 **季刊教育運動 1978年第2号**  
『教育運動』編集委員会編 ありえす書房  
活版 1978年6月10日 同文2部  
石橋寄稿あり 「春のことば・体験的教育論」 (4頁-8頁)
- 1313 **季刊電機労連 No. 29**  
全日本電機機器労働組合連合会  
活版 1975年11月 1部  
石橋対談あり 「社会党書記長・石橋政嗣氏と語る 職場から見た社会党像」  
(20頁-36頁) (出席者：加藤正之(日立労組武蔵支部)、久保田泰雄(松下労組産業東京支部)、新井弘(東洋無線労組)、森田元子(明電舎労組大崎支部))
- 1314 **木村経済レポート 第9巻第6号(通巻100号)**  
木村経済研究所 小野盛四郎  
活版 1980年6月1日 同文3部  
石橋寄稿あり 「いまこそ非武装中立を」 (1頁-9頁)
- 1315 **行政と経済 第5巻1号(通巻第37号)**  
行政問題調査会  
活版 1969年1月1日 1部  
石橋寄稿あり 「社会党こそ憲法の番人―だが国民に欲しい危機意識―」  
(13頁-17頁)
- 1316 **共同デスク 第1号〔総選挙闘争〕**  
共同デスク編集委員会(社会党・社会党を支持し強める会)  
活版 1983年9月15日 1部(6枚)  
石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめインタビュー 日本社会党石橋委員長に聞く」 <1> (2頁) (聞き手：小谷真澄)
- 1317 **共同デスク 第2号〔総選挙闘争〕**  
共同デスク編集委員会(社会党・社会党を支持し強める会)  
活版 1983年10月1日 1部(8枚)  
石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめインタビュー」 <2> (4頁)  
(聞き手：小谷真澄)
- 1318 **共同デスク 第3号〔総選挙闘争〕**  
共同デスク編集委員会(社会党・社会党を支持し強める会)  
活版 1983年10月15日 1部(4枚)  
石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめインタビュー」 <3> (6頁)  
(聞き手：小谷真澄)
- 1319 **共同デスク 第13号(部分)**  
共同デスク編集委員会(社会党・社会党を支持し強める会)  
活版 1985年10月1日 1枚  
石橋インタビューあり 「結党40年新たな飛躍めざして 社会党・石橋委員長に聞く」 (10頁)

- 1320 **共同デスク 第64号**  
 共同デスク編集委員会（社会党・社会党を支持し強める会） 田並胤明  
 （社会党広報局長）  
 活版 1988年10月15日 1部  
 石橋関係記事あり 「「天皇」「軍拡」焦点に 11月1日から第25回護憲大会」  
 （1頁）
- 1321 **近代化 第75号**  
 木村信友 近代化協会  
 活版 1973年 同文2部  
 石橋寄稿あり 「自民党の政治責任を問う－自民が呼び込む議会制民主主義の  
 形骸化」 （1頁－3頁）
- 1322 **軍縮問題研究 第41号**  
 吉田良雄編 宇都宮軍縮研究室  
 活版 1984年4月15日 1部  
 石橋関係記事あり。竹岡勝美「中曽根・石橋防衛論争の接点」 （10頁－16頁）
- 1323 **京和 第6号**  
 京成電鉄労働組合  
 活版 1974年4月1日 1部  
 京成電鉄労働組合機関紙 石橋寄稿あり 「七四春闘と参院選をともに闘いぬ  
 こう」 （24頁－25頁）
- 1324 **月刊自治研 第27巻6月号（通巻309号）**  
 自治研中央推進委員会事務局  
 活版 1985年6月5日 1部  
 石橋対談あり 「対論 ニュー社会党の自治体論」 （14頁－24頁）（対談者  
 : 仲吉良新）
- 1325 **月刊全電通 第11巻1号（通巻96号）**  
 片野貞義  
 活版 1971年9月25日 1部  
 石橋対談あり 「文革後の中国を語る」 （48頁－63頁）（対談者：都留智（  
 前電通副委員長））
- 1326 **月刊全電通 第14巻第7号（通巻132号）**  
 山崎和夫 全電通労働組合中央本部  
 活版 1975年4月5日 1部  
 石橋寄稿あり 「統一地方選に望む日本社会党の態度」 （6頁－9頁）
- 1327 **月刊全電通 第15巻第1号（通巻136号）**  
 山崎和夫 全電通労働組合中央本部  
 活版 1975年9月15日 1部  
 石橋寄稿あり 「秋の臨時国会から総選挙を展望して」 （6頁－9頁）

- 1328 **月刊全電通 第15巻第3号 (通巻138号 11月・12月合併号)**  
 山崎和夫 全電通労働組合中央本部  
 活版 1975年11月15日 同文2部  
 石橋対談あり 「社会党結党30年を語る－「憲法擁護」から「憲法実践」にむけて」 (30頁－46頁) (対談者：及川一夫(中央執行委員長))
- 1329 **月刊全電通 第16巻第1号 (通巻147号)**  
 山崎和夫 全電通労働組合中央本部  
 活版 1976年10月1日 (9月・10月合併号) 1部  
 石橋寄稿あり 「総選挙特集<2>今こそ、日本社会党は訴える－金権と汚職に腐りはてた自民党政治にピリオドを」 (34頁－35頁)
- 1330 **月刊全電通 第16巻第3号 (通巻149号 11月・12月合併号)**  
 松村和夫 全電通労働組合中央本部  
 活版 1976年11月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「二段階政権論と総選挙」 (6頁－13頁)
- 1331 **月刊総評 第141号**  
 日本労働組合総評議会  
 活版 1969年3月26日 1部  
 石橋寄稿あり 「四四年度予算の反動的性格－安保・治安対策へ急傾斜－」 (75頁－81頁)
- 1332 **月刊総評 参院選特集号**  
 日本労働組合総評議会  
 活版 1977年5月10日 1部  
 石橋インタビューあり 「伯仲から逆転へ 石橋社会党書記長・革新勝利の道を語る」 (24頁－31頁)
- 1333 **月刊総評 婦人問題特集号**  
 日本労働組合総評議会  
 活版 1981年5月20日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「非武装・中立をめぐって」 (24頁－32頁)  
 付：〔総評婦人局からの送付状〕 1枚
- 1334 **月刊長崎県人 第432号**  
 長崎県人社  
 活版 1983年10月15日 1部  
 石橋関係記事あり 宮浦一郎「県人初めての党首 石橋政嗣氏を寿ぐ」(5頁)、「社会党の新委員長に石橋政嗣代議士が就任」(22頁－23頁)
- 1335 **月刊長崎県人 第435号**  
 長崎県人社  
 活版 1967年2月15日 1部  
 石橋インタビューあり 「石橋政嗣・社会党委員長と語る」(4頁－9頁)

- 1336 **月刊長崎県及長崎県人 第321号**  
 長崎県人社  
 活版 1967年9月1日 1部  
 石橋紹介記事あり 「政界展望 県選出政治家で初の革新系大物」 (11頁)
- 1337 **月刊労働組合 第100号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1975年7月1日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「闘いの道しるべ」として発展を」 (「羅針盤」コーナー)  
 (7頁)
- 1338 **月刊労働組合 第106号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1976年1月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「総選挙闘争の勝利で革新政治の夜明を」 (「特集 七六春闘  
 をめぐる情勢分析」の一部) (55頁-58頁)
- 1339 **月刊労働組合 第116号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1976年11月1日 同文2部  
 石橋インタビューあり 「この人と1時間」 (36頁-37頁) (聞き手: 田中  
 勝之(『月刊労働組合』編集長))
- 1340 **月刊労働組合 第139号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1978年10月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「「有事立法」は改憲への道」 (46頁-49頁)
- 1341 **月刊労働組合 第145号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1979年4月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「成田知巳前委員長を想う」 (10頁-11頁)
- 1342 **月刊労働組合 第159号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1980年6月1日 同文2部  
 石橋対談あり 「平和闘争再構築の課題-今こそ非武装中立を訴えよう」  
 (12頁-19頁) (対談者: 松里福慈社青同副委員長、久保綾三軍事問題評論家)
- 1343 **月刊労働組合 第309号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1992年7月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「護憲の党の先見性」 (6頁-7頁) (「標的」コーナー)

- 1344 **月刊労働組合 第325号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1993年10月1日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「社会党と日本の政治への直言 総保守化で改憲の危機感じる」  
 (特集「社会党に再生の道はあるか」欄) (12頁-13頁)
- 1345 **月刊労働組合 第331号**  
 労働大学調査研究所 労働大学  
 活版 1994年3月1日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「護憲・平和と日本社会党」 (「特集 労働運動の今日的課  
 題-94年春闘講座から」欄) (16頁-22頁)
- 1346 **月刊労働問題 第146号**  
 橋本敬 日本評論社  
 活版 1970年6月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「熱意あふれる護憲の思想」 (福島信吾著『非武装の追求』  
 の書評) (114頁-115頁)
- 1347 **月刊労働問題 第154号**  
 橋本敬 日本評論社  
 活版 1971年2月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「日本社会党の新しい進路」 (14頁-18頁)
- 1348 **月曜会レポート 338 「第三次防衛力整備計画批判」**  
 社会党外交防衛委員長石橋政嗣 国民政治研究会  
 活版 1967年5月15日開催 1部
- 1349 **月曜会レポート 356 「社会党の新しい体制」**  
 社会党総務局長石橋政嗣 国民政治研究会  
 活版 1967年10月2日開催 1部
- 1350 **月曜会レポート 426 「社会党の安全保障政策」**  
 社会党国際局長石橋政嗣 国民政治研究会  
 活版 1969年2月24日開催 1部
- 1351 **月曜会レポート 572 「四次防と新年度予算」**  
 日本社会党書記長石橋政嗣 国民政治研究会  
 活版 1972年2月28日開催 1部
- 1352 **月曜会レポート 613 「総選挙と今後の社会党」**  
 日本社会党書記長石橋政嗣 国民政治研究会  
 活版 1972年12月18日開催 1部



- 1353 月曜会レポート 658 「国民連合政府構想と参院選」  
日本社会党書記長石橋政嗣 国民政治研究会  
活版 1973年11月12日開催 1部
- 1354 月曜会レポート [712] 「党大会を終えて」  
日本社会党書記長石橋政嗣 国民政治研究会  
活版 1974年12月23日開催 1部  
史料には「703」と記載。
- 1355 月曜会レポート 735 「第五十三回中央委員会を終えて」  
日本社会党書記長石橋政嗣 国民政治研究会  
活版 1975年6月16日開催 1部
- 1356 月曜会レポート 1030 「軍事増強の策動とその危険性」  
日本社会党・衆議院議員石橋政嗣 国民政治研究会  
活版 1981年6月8日 1部
- 1357 現代社会時評 通巻284号 (1992年11月号)  
磯野辰也 株式会社現代社会時評社  
活版 1992年10月10日 1部  
石橋インタビューあり 「元社会党委員長石橋政嗣氏に聞く 社会党をどう改革すべきか 上」 (14頁-21頁)
- 1358 現代社会時評 通巻285号 (1993年1月号)  
磯野辰也 株式会社現代社会時評社  
活版 1992年12月25日 1部  
石橋インタビューあり 「社会党をどう改革すべきか 下」 (26頁-29頁)
- 1359 現代社会時評 第278号 (1993年6月号)  
磯野辰也 株式会社現代社会時評社  
活版 1993年6月1日 1部  
石橋寄稿あり 「石橋がたたく1 政治診断 大山鳴動、ねずみ一匹」 (22頁-23頁)
- 1360 現代社会時評 第279号 (1994年8月号)  
磯野辰也 株式会社現代社会時評社  
活版 1993年8月1日 1部  
石橋寄稿あり 「石橋がたたく2 護憲の旗を降ろすのか」 (26頁-27頁)
- 1361 現代社会時評 通巻第280号 (1993年10月号)  
磯野辰也 株式会社現代社会時評社  
活版 1993年10月1日 1部  
石橋寄稿あり 「石橋がたたく3 怖るべし、小沢一郎の深謀遠慮」 (30頁-31頁)

- 1362 **現代社会主義研究 理論と資料 No. 61**  
現代社会主義研究編集委員会編 社会主義理論センター  
活版 1984年7月10日 1部  
石橋寄稿あり 「日本社会党第一回全国政策研究集会基調報告 二十一世紀を共に生き、共に栄えるために—私の「文化大国」論」 (18頁-20頁)
- 1363 **広報アンテナ No. 59 (vol. 8 No. 187)**  
防衛庁長官官房広報課  
活版 1965年6月 1部  
石橋座談会あり 「日本の防衛とわが党の立場」 (64頁-85頁) (出席者：江崎真澄 (自由民主党)、永末英一 (民主社会党))
- 1364 **交流の広場 第79号**  
公労協  
活版 1983年9月1日 1部  
石橋インタビューあり 「社会党石橋新委員長に抱負をきく」 (1頁)
- 1365 **国際地域研究 第1巻2号**  
小山泰夫 欧州問題研究所  
活版 1983年9月15日 1部  
石橋インタビューあり 「日本社会党再建のために」 (27頁-39頁) (石橋著『非武装中立論』紹介を含む)
- 1366 **国際労働運動 第146号 (第13巻第11号)**  
国際労働運動研究協会  
活版 1983年11月20日 同文2部  
石橋インタビューあり 「インタビュー 日本社会党新委員長石橋政嗣氏にきく 日本社会党の課題と党再生への私の決意」 (15頁-29頁)
- 1367 **国際労働運動 第148号 (第14巻第1号)**  
国際労働運動研究協会  
活版 1984年1月20日 1部  
石橋関係記事あり 高沢寅男 (日本社会党書記長、衆議院議員) 「党間交流第一次社会党訪中団の成果を語る—党間交流の新たな一頁をひらく—大きく転換した中国共産党の対外政策—」 (42頁-53頁)
- 1368 **国際労働運動 第162号 (第15巻第1号)**  
社団法人国際労働運動研究協会  
活版 1985年1月20日 1部  
石橋寄稿あり 「今年こそ政治革新の第一歩を」 (12頁-13頁)
- 1369 **国防 第15巻第12号 (通巻第165号)**  
安全保障調査会編 朝雲新聞社  
活版 1966年12月1日 1部  
石橋座談会あり 「中共の核武装 その意図・影響等について」 (12頁-44頁) (出席者：源田実 (自民党政調国防部長)、永末英一 (民主社会党安保対策特別防衛小委委員長) 他)

- 1370 **国民政治研究会報 昭和58年9月10日号**  
 田中克人 国民政治研究会  
 活版 1983年9月10日 1部  
 石橋関係記事あり 「税金」と「政治浄化」を掲げ闘う (8頁-23頁)、  
 「永田町情報 石橋新体制を支える人脈」 (4頁-7頁)
- 1371 **今日のソ連邦 第28巻第5号 (通巻626号)**  
 ソ連大使館広報部 新時代社  
 活版 1985年3月1日 1部  
 石橋関係記事あり ユーリー・アフォーニン「日本の発展の平和的な道—ロシア語版が刊行された石橋政嗣著『非武装中立論』」 (7頁)
- 1372 **今日のソ連邦 第28巻第21号 (通巻642号)**  
 ソ連大使館広報部 新時代社  
 活版 1985年11月1日 同文2部  
 石橋関係記事あり 「ソ連共産党と日本社会党の会談」 (10頁-13頁)  
 (於クレムリン、石橋・ゴルバチョフ会談(9月16日))
- 1373 **今日のソ連邦 第29巻第4号 (通巻649号)**  
 ソ連大使館広報部 新時代社  
 活版 1986年2月15日 1部  
 石橋写真あり (石橋・シュワルナゼ (ソ連外相) 会談) (5頁)
- 1374 **今日のソ連邦 第29巻第7号 (通巻652号)**  
 ソ連大使館広報部 新時代社  
 活版 1986年4月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「ソ連共産党第27回大会—意見と感想 率直な自己批判に感銘」 (44頁-45頁)
- 1375 **時事解説 第9097号**  
 時事通信社  
 活版 1982年11月19日 1部  
 石橋関係記事あり 「党大会を前に辞意を表明した石橋社会党副委員長 余力のあるうちに退いて先に備える狙いか」 (2頁-6頁)
- 1376 **自治労させば 第38号**  
 佐世保市役所職員組合教宣部  
 活版 1992年3月3日 1部  
 石橋講演録あり (市職員組合の92年春闘学習会における特別講演「内外情勢と労働組合の講演進路」)
- 1377 **自治労通信 改題276 (通巻1329)**  
 全日本自治団体労働組合  
 活版 1981年4月1日 同文2部  
 石橋講演録あり 「われわれの闘いと非武装中立政策」 (10頁-22頁) (自治労政治集会での講演 文を収録)

- 1378 **自治労通信 改題第420(通巻1372)**  
 全日本自治団体労働組合  
 活版 1987年4月1日 1部  
 石橋関係記事あり 田尻宗昭「「通信」が運んだ海のドラマ 霊前にささげる  
 国会会議録」(16頁-19頁) (内閣委員会での石橋発言)
- 1379 **実業雑誌 西九州 第210号(1968年3月号)**  
 佐世保商工新聞社  
 活版 1968年2月25日 同文3部  
 石橋寄稿あり 「佐世保の一週間」(7頁-8頁)
- 1380 **しま 第59号(第14巻第1号)**  
 全国離島振興協議会  
 活版 1968年10月 1部  
 石橋寄稿あり 「離島の神様」(6頁-7頁) (「綱島正興先生の御霊前に捧  
 げる」のうち)
- 1381 **社会主義 第100号**  
 大内兵衛・向坂逸郎編 社会主義協会  
 活版 1975年1月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「七五年を本当に新しい年に」(72頁-73頁) (「私の年賀  
 状」欄)
- 1382 **社会主義 第142号**  
 大内兵衛・向坂逸郎編 社会主義協会  
 活版 1978年5月1日 1部  
 石橋座談会あり 「座談会 日米安保・自衛隊とこれからの憲法闘争」(26  
 頁-39頁) (出席者:久保綾三(軍事問題評論家)、星野安三郎(東京学芸大学  
 教授)他)
- 1383 **社会主義 第156号**  
 大内兵衛・向坂逸郎編 社会主義協会  
 活版 1979年6月10日 1部  
 石橋座談会あり 「座談会 有事立法と統一戦線」(112頁-128頁) (出席  
 者:久保綾三(軍事問題評論家)、岩井章(国際労働運動研究協会会長)、伊藤  
 茂(日本社会党衆議院議員)、梶谷善久(国際問題評論家)他)
- 1384 **社会主義 第169号**  
 大内兵衛・向坂逸郎編 社会主義協会  
 活版 1980年5月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「アメリカの新たな世界戦略と日本」(14頁-21頁)
- 1385 **社会主義 第174号**  
 向坂逸郎編 社会主義協会  
 活版 1980年9月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「インタビュー 日本社会党はいまなにをすべきか」  
 (78頁-87頁)

- 1386 **社会主義 第177号**  
向坂逸郎編 社会主義協会  
活版 1980年12月1日 1部  
石橋関係記事あり 「山川均の「非武装・中立」論」 (25頁-32頁) (石橋著『非武装中立論』への言及)
- 1387 **社会主義 第197号**  
向坂逸郎編 社会主義協会  
活版 1982年5月1日 1部  
石橋インタビューあり 「インタビュー 国会闘争ささえる大衆運動の形成を」 (22頁-29頁)
- 1388 **社会主義 第218号**  
向坂逸郎編 社会主義協会  
活版 1983年11月1日 1部  
石橋インタビューあり 「インタビュー 一人ひとりが工夫をこらして党の再建を」 (20頁-26頁)
- 1389 **社会主義 第221号**  
向坂逸郎編 社会主義協会  
活版 1984年1月1日 1部  
石橋寄稿あり 「新春に思う」 (22頁)
- 1390 **社会主義 第443号**  
社会主義協会  
活版 2000年1月1日 1部  
石橋著書書評あり 浦口俊郎『55年体制—内側からの証言』 (80頁-81頁) (コラム「私の書棚」欄)
- 1391 **社会主義 第400号**  
社会主義協会編 協同文化社  
活版 1985年4月1日 1部  
石橋寄稿あり 「中曽根政治にストップを」 (5頁-6頁)
- 1392 **社会新報 号外**  
日本社会党中央本部機関紙局  
活版 1984年5月1日 1部  
石橋関係記事あり 「ニュー社会党を強めよう」 (1頁)
- 1393 **社会新報 号外**  
日本社会党中央本部機関紙局  
活版 1984年11月10日 1部  
石橋寄稿あり 「全党あげて党拡緊急行動を」 (1頁)

- 1394 **社会新報 号外**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1984年12月20日 1部  
 石橋寄稿あり 「ニュー社会党にふさわしい機関紙活動の創造をめざそう」  
 (1頁)
- 1395 **社会新報〔1985年4月1日号〕**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1985年4月1日 1部  
 石橋対談あり 「尾崎正一市議、石橋委員長と都政を語る！」 (1頁) (対談者：尾崎正一(府中市議))
- 1396 **社会新報 品川版 号外**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1985年5月15日 1部  
 石橋寄稿あり 「品川区民の皆さんへ」 (1頁)
- 1397 **社会新報 号外 国会報告特集号**  
 日本社会党中央本部機関紙局  
 活版 1985年6月2日 1部  
 石橋関係記事あり 「政権をめざして 社会党委員長石橋政嗣さん」 他  
 (1頁) 他
- 1398 **社会党ひろしま 第64号**  
 渡壁正徳編 日本社会党広島県本部  
 活版 1980年4月25日 1部  
 石橋の講演記録あり 「生活・民主主義・平和の危機負けられない参院選の闘い」 (1頁-15頁)
- 1399 **社会労働評論 第69号〔1983年11月号〕**  
 労働社会問題研究センター  
 活版 1983年11月1日 1部  
 石橋対談あり 「対談 新委員長大いに語る」 (26頁-40頁) (対談者：武藤山治)
- 1400 **社会労働評論 第71号**  
 労働社会問題研究センター  
 活版 1984年1月1日 1部  
 石橋関係記事あり 加藤学「"石橋社会党"の三カ月」 (46頁-49頁)
- 1401 **社会労働評論 第105号**  
 労働社会問題研究センター  
 活版 1986年11月1日 1部  
 石橋関係記事あり 田辺誠「新たな出発点に立って」 (5頁-7頁)

- 1402 **旬刊社会通信 第56号**  
 社会通信社  
 活版 1979年6月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「石橋政嗣氏に聞く 全野党共闘路線は統一戦線の別  
 名」 (8頁-10頁)
- 1403 **旬刊社会通信 No. 51**  
 社会通信社  
 活版 1974年4月11日 1部  
 石橋関係記事あり 「悔を千載に残す? 「日中共同声明」と「日中条約」一衆  
 院予算委員会で石橋政嗣氏が質問」 (2頁-5頁)
- 1404 **新国策 第35巻第22号**  
 国策研究会  
 活版 1968年8月5日 1部  
 石橋関係記事あり 「参院選を顧みる(下) 社会党はなぜ“惨敗”したか」 (14  
 頁-18頁)
- 1405 **心泉 通巻第40号 [1998年10月号]**  
 心泉社  
 活版 1998年9月25日 1部  
 石橋関係記事あり 「元社会党委員長・元衆議院議員石橋政嗣」 (28頁-29  
 頁) (コラム「私の好きな言葉」欄)
- 1406 **新報させぼ 第9号**  
 日本社会党佐世保総支部  
 活版 1980年4月25日 1部  
 石橋寄稿あり 「妻の座を強く大きく-民法の改正がようやく実現します-」  
 (1頁)、他
- 1407 **新報させぼ 第10号**  
 日本社会党佐世保総支部  
 活版 1980年9月20日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「軍事費は別枠の意味するもの」 (1頁)
- 1408 **瑞雲 1986年 新正**  
 瑞雲書道会  
 活版 1986年 [1月ヵ] 1部  
 石橋写真あり (ゴルバチョフと石橋) (3頁)
- 1409 **瑞雲 1989年 新正**  
 瑞雲書道会  
 活版 1989年 [1月ヵ] 1部

- 1410 **政経思潮 第9号**  
 活版 1956年6月10日 同文3部  
 石橋関係記事あり 「乱闘国会余聞 男を上げた社会党の石橋政嗣」 (2頁)
- 1411 **政経思潮 第10号**  
 政経新潮社  
 活版 1956年8月10日 1部
- 1412 **政経トピックス 第4巻第3号 (1958年3月号)**  
 政経日報社  
 活版 1958年3月1日 1部  
 石橋関係記事あり 「特集 代議士先生の勤務評定 国会議員の動向を身辺に  
 みている有力新聞政治部記者の採点した代議士四百五十名の勤務評定」 (32  
 頁-84頁)
- 1413 **政策研究 第7号**  
 政策研究会  
 活版 1964年2月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「転機を迎えた日中関係 日中国交の早期実現のために」 (28頁-34頁)
- 1414 **政策研究 第10号**  
 政策研究会  
 活版 1964年5月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「平和憲法と国防省昇格」 (2頁-3頁)
- 1415 **政策研究 第16号 [1964年12月号]**  
 政策研究会  
 活版 1964年12月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「激動の十五日間を中国で迎えて」 (33頁-35頁)
- 1416 **政策研究 第27号**  
 政策研究会  
 活版 1965年12月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「暴挙の真因と今後の任務」 (11頁-14頁)
- 1417 **政策研究 第33号**  
 政策研究会  
 活版 1966年6月10日 1部  
 石橋座談会あり 「予算委員会をふり返って」 (29頁-46頁) (出席者：野  
 原覚、柳田秀一、角屋堅次郎、辻原弘市他)



- 1418 政策研究 第35号**  
 政策研究会  
 活版 1966年8月10日 同文2部  
 石橋座談会あり 「安全保障を考える 積極中立政策の発展のために」 (5頁-21頁) (出席者: 星野安三郎 (東京学芸大学教授)、勝間田清一 (社会党社会主義理論委事務局長) 横路節雄 (社会党政策審議会長)、村山喜一 (衆議院議員・司会))
- 1419 政策研究 第37号**  
 政策研究会  
 活版 1966年10月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「非武装中立と日本の安全保障」 (64頁-87頁)
- 1420 政策研究 第42号 (1967年5・6合併号)**  
 政策研究会  
 活版 1967年6月10日 1部  
 石橋寄稿あり 「核防条約参加への条件」 (5頁-8頁)
- 1421 政治情報 No. 37**  
 北山政治経済研究所  
 活版 1984年5月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「訪米の成果と今後の展望 石橋委員長に聞く 率直な対話で国民友好の土台」 (2頁-6頁)
- 1422 世界と議会 第102号 [1969年12月号]**  
 財団法人尾崎行雄記念財団  
 活版 1969年11月15日 1部  
 石橋関係記事あり 「公開シンポジウム 討論 一九七〇年と世界平和」 (20頁-29頁) (出席者: 江崎真澄 (自由民主党)、麻生良方 (民社党)、黒柳明 (公明党)、松本義明 (日本共産党) 他)
- 1423 世界と議会 第219号 [1980年10月号]**  
 財団法人尾崎行雄記念財団  
 活版 1980年9月15日 1部  
 石橋寄稿あり 「目指すべき非武装・中立の現実化」 (17頁-22頁)
- 1424 全水道 (全日本水道労働組合理論誌) 第21号**  
 全日本水道労働組合  
 活版 1979年9月20日 1部  
 石橋講演録あり 「記念講演・今日の政治動向と社会党の任務・労働運動の課題」 (28頁-47頁) (於第7回労研全国集会、1979年8月21日-24日)
- 1425 全逋社会党員協会報 No. 8・9合併号**  
 全逋社会党員協議会  
 活版 1975年10月30日 1部  
 石橋の講演収録あり (24頁-37頁) (第四回全逋党員協会議事録)

- 1426 **全通青年部月報 第72号**  
全通信労働組合青年部  
活版 1981年3月23日 同文2部  
石橋座談会あり 「今日の政治情勢と青年の任務—座談会・石橋前社会党書記長を囲んで」 (1頁-15頁) (対談者: 星野郁夫(社会党青少年局青年対策委員会事務局長)、大久保公雄(総評青年局長)他)
- 1427 **全日通 第60号**  
全日通労働組合  
活版 1981年4月1日 同文2部  
石橋寄稿あり 「平和と安全の道」 (9頁-14頁)
- 1428 **ぜんりんや No. 103**  
全林野労働組合中央本部  
活版 1982年3月10日 同文2部  
石橋講演録あり 「日本の政治情勢について」 (4頁-25頁)
- 1429 **地方自治 第291号**  
自治体問題研究会  
活版 1984年6月20日 1部  
石橋関係記事あり 青木実「吉留路樹著「革新本流の再生」—石橋政嗣その人と日本社会党の進路—」 (34頁-35頁)
- 1430 **地方自治 第309号**  
自治体問題研究会  
活版 1985年12月20日 1部  
石橋関係記事あり 「委員長あいさつ 誇りある歴史を背に信頼される党風を—結党四〇周年を迎えて—」 (27頁-33頁)
- 1431 **地方自治 第310号**  
自治体問題研究会  
活版 1986年1月20日 1部  
石橋対談あり 「新春対談 社会党・次は女の時代！」 (2頁-6頁) (対談者: 千葉景子)
- 1432 **中央労対ニュース 準備号**  
日本社会党中央本部労働局 同  
活版 1984年7月1日 1部  
石橋講演録あり 「党勢拡大でニュー社会党の前進を 石橋委員長ラストチャンスとして訴える」 (1頁-3頁) (第六回中央労対会議での講演)
- 1433 **中央労対ニュース 第1号**  
中央労対ニュース編集委員会 日本社会党中央本部労働局  
活版 1984年10月25日 1部  
石橋寄稿あり 「ニュー社会党をふり返って」 (1頁-3頁) (於第63回中央委員会)

- 1434 **中央労対ニュース 第20号**  
 日本社会党中央本部労働局  
 活版 1986年5月25日 1部  
 石橋寄稿あり 「オーストラリア、ニュージーランド訪問報告」 (3頁-5頁)  
 (於中央労対会議)
- 1435 **中日懇話会報 99号**  
 竹田八郎編 中日懇話会事務局 (中日新聞社内)  
 活版 1984年6月25日 同文2部  
 石橋講演録あり 「ニュー社会党の考え方」 (3頁-35頁)
- 1436 **党協通信 No. 82-4**  
 日本社会党全専売党员・党友協議会  
 活版 1983年6月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「護憲の裾野を広げよう一八〇年代闘争とわれわれの任務」  
 (1頁-6頁)
- 1437 **党協通信 No. 84-2**  
 日本社会党全専売党员・党友協議会  
 活版 1985年1月20日 1部  
 石橋寄稿あり 「八〇年代をわれわれは如何に闘うか」 (4頁-6頁)
- 1438 **同盟ニュース 第16巻 (通巻第178号)**  
 同盟通信本社  
 活版 1984年4月15日 1部  
 石橋関係記事あり 「巻頭言 ニュー社会党への道一ある友人への手紙」  
 (7頁)
- 1439 **都市交 第27号**  
 日本都市交通労働組合教宣部  
 活版 1981年1月31日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「〈特集〉81年闘争の課題を展望する=政治=」 (10頁-18  
 頁)
- 1440 **内外情勢資料 第602号**  
 中野嘉夫編 内外情勢調査会  
 活版 1982年4月18日 1部  
 石橋関係記事あり 三宅久之「非武装中立論に圧倒的支持 石橋社党副委員長  
 の見解」 (1頁-9頁) (三宅：政治評論家、3月26日に文章化カ)
- 1441 **ながさき県北ジャーナル No. 44**  
 県北ジャーナル社  
 活版 1967年10月1日 1部  
 石橋人物紹介あり 「人物素論 (6) 石橋政嗣編」 (10頁-11頁)

- 1442 **長崎県自治研究 第6号**  
 長崎縣地方自治研究會  
 活版 1951年6月1日 1部  
 石橋人物紹介あり 「県議会に異彩を放つ二人の青年像 小川雄一郎議員と石橋政嗣議員」 (28頁-29頁)
- 1443 **長崎県自治研究 第11号**  
 長崎県地方自治研究会  
 活版 1952年1月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「港を中心とした佐世保市の発展策」 (34頁-35頁)
- 1444 **長崎県自治研究 第17号**  
 長崎県地方自治研究會  
 活版 1953年4月25日 1部  
 石橋寄稿あり 「県財政の歳入欠陥の検討」 (6頁-8頁)
- 1445 **長崎ジャーナル 第57号**  
 甲山好治発行・編 甲山好治  
 活版 1971年1月1日 同文2部  
 石橋挨拶あり 「社会党書記長就任にあたって」 (12頁-13頁) (於石橋の書記長就任祝賀会、(1970年12月12日))
- 1446 **農業・農民 第89号 (第1巻第7号)**  
 農業共同文化推進協議会  
 活版 1968年7月15日 1部  
 石橋寄稿あり 「特ダネ記事のお手柄」 (2頁)
- 1447 **農業・農民 第111号 (第3巻第5号)**  
 農業共同文化推進協議会  
 活版 1970年5月15日 1部  
 石橋寄稿あり 「お芋と私」 (3頁)
- 1448 **話の特集 第95号 (1974年1月号)**  
 (株) 話の特集  
 活版 1974年1月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「メッキは剥げる」 (24頁-25頁)
- 1449 **ぴいぷる 第2巻第2号**  
 国民出版社  
 活版 1970年2月1日 1部  
 石橋関係記事あり 永田朝太郎「激動の70年代に活躍する政治家たち」 (20頁-32頁)

- 1450 **肥前路 1991年 No. 4 (1991年12月号)**  
 ほたる書房  
 活版 1991年12月10日 1部  
 石橋著書紹介あり 「新刊紹介『石橋が叩く』石橋政嗣著」 (12頁)
- 1451 **ひろば〔日本社会党衆議院秘書団機関紙〕**  
 活版 1984年10月 1部  
 石橋寄稿あり 「秘書団の皆さんへ」 (2頁)
- 1452 **福島全県職 (福島県職員労働組合新聞) 第1323号**  
 福島県職員労働組合  
 活版 1991年1月5日 同文9部  
 石橋座談会あり 「非武装中立へ一步」 (2面) (出席者：佐藤康英(自治労  
 財政局長)、河辺信雄(県職労委員長))
- 1453 **平和と民主主義 396号**  
 憲法擁護国民連合・反安保全国実行委員会  
 活版 1981年3月1日 1部  
 石橋の講演録あり 「最近の改憲情勢と非武装中立—予算審議、竹田発言から  
 —」 (3頁—7頁) (西日本護憲大学における講演)
- 1454 **平和と民主主義 489号**  
 憲法擁護国民連合・反安保全国実行委員会  
 活版 1988年12月1日 1部  
 石橋挨拶あり 「主催者代表あいさつ」 (2頁) (憲法改悪反対・平和と民  
 主主義を護る第25回国民大会報告に際する挨拶)
- 1455 **平和と民主主義 490号**  
 憲法擁護委員会・反安保全国実行委員会  
 活版 1989年1月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「これからの護憲運動の課題」 (2頁)
- 1456 **平和と民主主義 505号**  
 憲法擁護国民連合  
 活版 1990年4月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「憲法施行四三周年にあたって」 (2頁)
- 1457 **平和と民主主義 511号**  
 憲法擁護国民連合編  
 活版 1990年10月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「自衛隊海外派兵に道開く国連平和協力隊構想」 (2頁)

- 1458 **平和と民主主義 513号**  
 憲法擁護国民連合編  
 活版 1990年12月1日 1部  
 石橋講演録あり 「主催者代表挨拶」 (2頁) (於「憲法擁護、平和と人権・民主主義を確立する第27回国民大会」)
- 1459 **平和と民主主義 519号**  
 憲法擁護国民連合編  
 活版 1991年6月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「掃海艇派遣と憲法」 (2頁)
- 1460 **平和と民主主義〔憲法擁護・平和・人権フォーラム NeWs PaPer〕  
 第618号**  
 憲法擁護・平和・人権フォーラム  
 活版 1999年10月 1部
- 1461 **まなぶ 第146号**  
 労働大学  
 活版 1972年10月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「石橋書記長にきく 総選挙を前にして青年にうったえる」 (9頁-14頁) (聞き手：山口敏一・労働大学事務局長)
- 1462 **まなぶ 第177号**  
 労働大学  
 活版 1975年3月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「石橋書記長にきく 独占のゆきづまりにダメおしー統一自治体選挙と社会党のたたかい」 (18頁-21頁)
- 1463 **まなぶ 第225号**  
 労働大学  
 活版 1978年12月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「インタビュー 自衛隊その30年 権力側のねばりに支えられ」 (9頁-15頁)
- 1464 **まなぶ 第236号**  
 労働大学  
 活版 1979年10月1日 1部  
 石橋インタビューあり 「インタビュー 社会党を強く大きく」 (9頁-15頁)
- 1465 **まなぶ 第249号**  
 労働大学  
 活版 1980年11月1日 1部  
 石橋対談あり 「対談 武装すれば安全か—非武装中立と私たち—」 (22頁-29頁) (対談者：梶谷善久(国際問題評論家))

- 1466 **まなぶ 第400号**  
 労働大学  
 活版 1992年6月1日 1部  
 石橋寄稿あり 「この本を読んで 『憲法を守れ 違法の海外派兵』」 (43頁)
- 1467 **理論月報 No. 7**  
 日本社会党社会主義理論委員会  
 活版 1963年1月1日 1部  
 石橋関係記事あり 「自衛隊の現状と対米関係」 (1頁-16頁) (第17回社会主義理論委員会での報告(1962年11月7日))
- 1468 **労働者〔1975年9月26日号〕**  
 「労働者」編集委員会 日本社会党国労党員協議会  
 活版 1975年9月26日 1部  
 石橋関係記事あり 「現状の諸課題について」 (3頁-20頁) (学習会の速記録 1975年7月30日)
- 1469 **労働者〔1977年5月22日〕**  
 「労働者」編集委員会 日本社会党国労党員協議会  
 活版 1977年5月22日 1部  
 石橋寄稿あり 「江田離党問題と日本社会党の態度」 (1頁-6頁)
- 1470 **論説会議 第11巻第11号 (通巻110号)**  
 社団法人国民政治研究会  
 活版 1990年10月5日 1部  
 石橋寄稿あり 「政権交代は議会政治の根幹」 (40頁)
- 1471 **Cahiers du Japon No. 20 [1984年夏]**  
 Japan Echo  
 活版 1984年5月 1部  
 石橋寄稿あり。「De la neutralite non armee」 (pp.39-46)  
 付：〔送り状 ジャパンエコー社編集部長持田健 石橋政嗣宛〕 1984年5月23日 1枚
- 1472 **F・I・O 第3号**  
 太田功編 池田明和  
 活版 1983年8月30日 同文2部  
 石橋寄稿あり 「減税の即時実施と政治浄化めざし臨時国会を闘いぬきます」 (1頁)
- 1473 **Far Eastern Economic Review vol.127 No.2**  
 Far Eastern Economic Review Ltd.  
 活版 1985年1月17日 1部  
 石橋インタビューあり 「paving the way The Japanese socialists' return to the 'real world' is a factor in Tokyo-Pyongyang rapprochement (28頁-29頁)  
 付：〔カード〕 1枚

- 1474 Japan Echo Vol. 11 No. 1**  
 Japan Echo  
 活版 1984年 1部  
 石橋寄稿あり “On Unarmed Neutrality” (47頁-54頁)
- 1475 Japan Socialist Review No. 171**  
 日本社会党  
 タイプ (コピー) 1969年1月15日 1部  
 JSP Acctio policy for 1969 [1969年政策方針]
- 1476 Newsweek Vol. 104 No. 1 November/December 1984**  
 Newsweek  
 活版 1984年11月17日 1部  
 石橋関係記事あり “Applause for Reagan - The world's statesmen try to forecast the second term” (10頁)
- 1477 TIME Vol. 123 No. 21**  
 Time Ink  
 活版 1984年1月2日 1部  
 石橋関係記事あり “After the Big Shokku - Nakasone struggles to put together a new government” (32頁-33頁)  
 付：[名刺] S. Chang 1枚



## ※ 雑誌・新聞（石橋政嗣関係） 年月日索引

| 年月日         | 内容   | 標題                               | 資料番号 |
|-------------|--|----------------------------------|------|
| 1951年6月1日   | 石橋人物紹介あり 「県議会に異彩を放つ二人の青年像 小川雄一郎議員と石橋政嗣議員」 (28頁-29頁)  | 長崎県自治研究 第6号                      | 1442 |
| 1952年1月1日   | 石橋寄稿あり 「港を中心とした佐世保市の発展策」 (34頁)   | 長崎県自治研究 第11号                     | 1443 |
| 1953年4月25日  | 石橋寄稿あり 「県財政の歳入欠陥の検討」 (6頁-8頁)   | 長崎県自治研究 第17号                     | 1444 |
| 1956年6月10日  | 石橋関係記事あり 「乱闘国会余聞 男を上げた社会党の石橋政嗣」 (2頁)   | 政経思潮 第9号                         | 1410 |
| 1956年8月10日  |  | 政経思潮 第10号                        | 1411 |
| 1958年3月1日   | 石橋関係記事あり 「特集 代議士先生の勤務評定 国会議員の動向を身近にみている有力新聞政治部記者の採点した代議士四百五十名の勤務評定」 (32頁-84頁)  | 政経トピックス 第4巻第3号 (1958年3月号)        | 1412 |
| 1963年1月1日   | 石橋関係記事あり 「自衛隊の現状と対米関係」 (1頁-16頁) (第17回社会主義理論委員会での報告(1962年11月7日))  | 理論月報 No. 7                       | 1467 |
| 1964年2月10日  | 石橋寄稿あり 「転機を迎えた日中関係 日中国交の早期実現のために」 (28頁-34頁)  | 政策研究 第7号                         | 1413 |
| 1964年5月10日  | 石橋寄稿あり 「平和憲法と国防省昇格」 (2頁-3頁)  | 政策研究 第10号                        | 1414 |
| 1964年12月10日 | 石橋寄稿あり 「激動の十五日間を中国で迎えて」 (33頁-35頁)  | 政策研究 第16号 [1964年12月号]            | 1415 |
| 1965年6月     | 石橋座談会あり 「日本の防衛とわが党の立場」 (64頁-85頁) (出席者：江崎真澄(自由民主党)、永末英一(民主社会党))   | 広報アンテナ No. 59 (vol. 1.8 No. 187) | 1363 |
| 1965年12月10日 | 石橋寄稿あり 「暴挙の真因と今後の任務」 (11頁-14頁)   | 政策研究 第27号                        | 1416 |
| 1966年6月10日  | 石橋座談会あり 「予算委員会をふり返って」 (29頁-46頁) (出席者：野原覚、柳田秀一、角屋堅次郎、辻原弘市他)   | 政策研究 第33号                        | 1417 |
| 1966年8月10日  | 石橋座談会あり 「安全保障を考える 積極中立政策の発展のために」 (5頁-21頁) (出席者：星野安三郎(東京学芸大学教授)、勝間田清一(社会党社会主義理論委事務局長)、横路節雄(社会党政策審議会長)、村山喜一(衆議院議員・司会)) | 政策研究 第35号                        | 1418 |
| 1966年10月10日 | 石橋寄稿あり 「非武装中立と日本の安全保障」 (64頁-87頁)   | 政策研究 第37号                        | 1419 |

| 年月日              | 内容   | 標題                             | 資料番号 |
|------------------|--|--------------------------------|------|
| 1966年12月1日       | 石橋座談会あり 「中共の核武装 その意図・影響等について」 (12頁-44頁) (出席者: 源田実(自民党政調国防部長)、永末英一(民主社会党安保対策特別防衛小委委員長)他)            | 国防 第15巻第12号(通巻第165号)           | 1369 |
| 1967年2月15日       | 石橋インタビューあり 「石橋政嗣・社会党委員長と語る」 (4頁-9頁)  | 月刊長崎県人 第435号                   | 1335 |
| 1967年5月15日<br>開催 |  | 月曜会レポート 338<br>「第三次防衛力整備計画批判」  | 1348 |
| 1967年6月10日       | 石橋寄稿あり 「核防条約参加への条件」 (5頁-8頁)  | 政策研究 第42号 (1967年5・6合併号)        | 1420 |
| 1967年9月1日        | 石橋人物紹介記事あり 「政界展望 県選出政治家で初の革新系大物」 (11頁)   | 月刊長崎県及長崎県人 第321号               | 1336 |
| 1967年10月1日       | 石橋人物紹介あり 「人物素論 (6) 石橋政嗣編」 (10頁-11頁)  | ながさき県北ジャーナル No. 44             | 1441 |
| 1967年10月2日<br>開催 |  | 月曜会レポート 356<br>「社会党の新しい体制」     | 1349 |
| 1968年2月25日       | 石橋寄稿あり 「佐世保の一週間」 (7頁-8頁)   | 実業雑誌 西九州 第210号 (1968年3月号)      | 1379 |
| 1968年5月1日        | 石橋寄稿あり 「直言/憲法への挑戦」 (5頁)  | 学習のひろば 第75号                    | 1311 |
| 1968年7月15日       | 石橋寄稿あり 「特ダネ記事のお手柄」 (2頁)  | 農業・農民 第89号 (第1巻第7号)            | 1446 |
| 1968年8月5日        | 石橋関係記事あり 「参院選を顧みる (下) 社会党はなぜ“惨敗”したか」 (14頁-18頁)   | 新国策 第35巻第22号                   | 1404 |
| 1968年10月         | 石橋寄稿あり 「離島の神様」 (6頁-7頁) (「綱島正興先生の御霊前に捧げる」のうち)   | しま 第59号 (第14巻第1号)              | 1380 |
| 1969年1月1日        | 石橋寄稿あり 「社会党こそ憲法の番人—だが国民に欲しい危機意識—」 (13頁-17頁)  | 行政と経済 第5巻1号 (通巻第37号)           | 1315 |
| 1969年1月15日       | JSP Action policy for 1969 [1969年政策方針]   | Japan Socialist Review No. 171 | 1475 |
| 1969年2月24日<br>開催 |  | 月曜会レポート 426 「社会党の安全保障政策」       | 1350 |
| 1969年3月26日       | 石橋寄稿あり 「四四年度予算の反動的性格—安保・治安対策へ急傾斜—」 (75頁-81頁)   | 月刊総評 第141号                     | 1331 |
| 1969年11月15日      | 石橋関係記事あり 「公開シンポジウム 討論 一九七〇年と世界平和」 (20頁-29頁) (出席者: 江崎真澄 (自由民主党)、麻生良方 (民社党)、黒柳明 (公明党)、松本義明 (日本共産党)他) | 世界と議会 第102号 [1969年12月号]        | 1422 |

| 年月日               | 内容  | 標題                             | 資料番号 |
|-------------------|---|--------------------------------|------|
| 1970年2月1日         | 石橋関係記事あり 永田朝太郎「激動の70年代に活躍する政治家たち」(20頁-32頁)                                | ぴいぷる 第2巻第2号                    | 1449 |
| 1970年5月15日        | 石橋寄稿あり 「お芋と私」(3頁)   | 農業・農民 第111号(第3巻第5号)            | 1447 |
| 1970年6月1日         | 石橋寄稿あり 「熱意あふれる護憲の思想」(福島信吾著『非武装の追求』の書評)(114頁-115頁)                         | 月刊労働問題 第146号                   | 1346 |
| 1970年10月1日        | 石橋インタビューあり 「社会党・北朝鮮共同声明とその背景 国際局長・石橋政嗣氏に聞く」(22頁-29頁)(聞き手:林健彦(サンケイ新聞・政治部)) | アジア 第5巻第10号(通巻第50号)[1970年11月号] | 1305 |
| 1971年1月1日         | 石橋挨拶あり 「社会党書記長就任にあたって」(12頁-13頁)(於石橋の書記長就任祝賀会、(1970年12月12日))               | 長崎ジャーナル 第57号                   | 1445 |
| 1971年2月1日         | 石橋インタビューあり 「日本社会党の新しい進路」(14頁-18頁)   | 月刊労働問題 第154号                   | 1347 |
| 1971年9月25日        | 石橋対談あり 「文革後の中国を語る」(48頁-63頁)(対談者:都留智(前電通副委員長))                             | 月刊全電通 第11巻1号(通巻96号)            | 1325 |
| 1972年2月28日<br>開催  |   | 月曜会レポート 572 「四次防と新年度予算」        | 1351 |
| 1972年10月1日        | 石橋インタビューあり 「石橋書記長にきく 総選挙を前にして青年にうったえる」(9頁-14頁)(聞き手:山口敏一・労働大学事務局長)         | まなぶ 第146号                      | 1461 |
| 1972年12月18日<br>開催 |   | 月曜会レポート 613 「総選挙と今後の社会党」       | 1352 |
| 1973年             | 石橋寄稿あり 「自民党の政治責任を問うー自民が呼び込む議会制民主主義の形骸化」(1頁-3頁)                            | 近代化 第75号                       | 1321 |
| 1973年11月12日<br>開催 |   | 月曜会レポート 658 「国民連合政府構想と参院選」     | 1353 |
| 1974年1月1日         | 石橋寄稿あり 「メッキは剥げる」(24頁-25頁)   | 話の特集 第95号(1974年1月号)            | 1448 |
| 1974年4月1日         | 京成電鉄労働組合機関紙 石橋寄稿あり 「七四春闘と参院選をともに闘いぬこう」(24頁-25頁)                           | 京和 第6号                         | 1323 |
| 1974年4月11日        | 石橋関係記事あり 「悔を千載に残す? 「日中共同声明」と 「日中条約」 一衆院予算委員会で石橋政嗣氏が質問」(2頁-5頁)             | 旬刊社会通信 No. 51                  | 1403 |
| 1974年12月23日<br>開催 | 史料には「703」と記載。   | 月曜会レポート [712] 「党大会を終えて」        | 1354 |

| 年月日                       | 内容  | 標題                                | 資料番号 |
|---------------------------|---|-----------------------------------|------|
| 1975年1月1日                 | 石橋寄稿あり 「七五年を本当に新しい年に」 (72頁-73頁) (「私の年賀状」欄)  | 社会主義 第100号                        | 1381 |
| 1975年3月1日                 | 石橋インタビューあり 「石橋書記長にきく 独占のゆきづまりにダメおしー統一自治体選挙と社会党のたたかいー」 (18頁-21頁)   | まなぶ 第177号                         | 1462 |
| 1975年4月5日                 | 石橋寄稿あり 「統一地方選に望む日本社会党の態度」 (6頁-9頁)   | 月刊全電通 第14巻第7号 (通巻132号)            | 1326 |
| 1975年6月16日<br>開催          |   | 月曜会レポート 735 「第五十三回中央委員会を終えて」      | 1355 |
| 1975年7月1日                 | 石橋寄稿あり 「「闘いの道しるべ」として 発展を」 (「羅針盤」コーナー) (7頁)  | 月刊労働組合 第100号                      | 1337 |
| 1975年9月15日                | 石橋寄稿あり 「秋の臨時国会から総選挙を展望して」 (6頁-9頁)   | 月刊全電通 第15巻第1号 (通巻136号)            | 1327 |
| 1975年9月26日                | 石橋関係記事あり 「現状の諸課題について」 (3頁-20頁) (学習会の速記録 1975年7月30日)   | 労働者 [1975年9月26日号]                 | 1468 |
| 1975年10月30日               | 石橋の講演収録あり (24頁-37頁) (第四回全通党員協会議事録)  | 全通社会党員協会報 No. 8・9合併号              | 1425 |
| 1975年11月                  | 石橋対談あり 「社会党書記長・石橋政嗣氏と語る 職場から見た社会党像」 (20頁-36頁) (出席者: 加藤正之(日立労組武蔵支部)、久保田泰雄(松下労組産業東京支部)、新井弘(東洋無線労組)、森田元子(明電舎労組大崎支部)) | 季刊電機労連 No. 29                     | 1313 |
| 1975年11月15日               | 石橋対談あり 「社会党結党30年を語るー「憲法擁護」から「憲法実践」にむけて」 (30頁-46頁) (対談者: 及川一夫(中央執行委員長))  | 月刊全電通 第15巻第3号 (通巻138号 11月・12月合併号) | 1328 |
| 1976年1月1日                 | 石橋寄稿あり 「総選挙闘争の勝利で革新政治の夜明を」 (「特集 七六春闘をめぐる情勢分析」の一部) (55頁-58頁)   | 月刊労働組合 第106号                      | 1338 |
| 1976年10月1日<br>(9月・10月合併号) | 石橋寄稿あり 「総選挙特集<2>今こそ、日本社会党は訴えるー金権と汚職に腐りはてた自民党政治にピリオドを」 (34頁-35頁)   | 月刊全電通 第16巻第1号 (通巻147号)            | 1329 |
| 1976年11月1日                | 石橋インタビューあり 「この人と1時間」 (36頁-37頁) (聞き手: 田中勝之(『月刊労働組合』編集長))   | 月刊労働組合 第116号                      | 1339 |
| 1976年11月10日               | 石橋寄稿あり 「二段階政権論と総選挙」 (6頁-13頁)  | 月刊全電通 第16巻第3号 (通巻149号 11月・12月合併号) | 1330 |

| 年月日        | 内容   | 標題                         | 資料番号 |
|------------|--|----------------------------|------|
| 1977年5月10日 | 石橋インタビューあり 「伯仲から逆転へ<br>石橋社会党書記長・革新勝利の道を語る」<br>(24頁-31頁)  | 月刊総評 参院選特集号                | 1332 |
| 1977年5月22日 | 石橋寄稿あり 「江田離党問題と日本社会党<br>の態度」 (1頁-6頁)   | 労働者 [1977年5月22日]           | 1469 |
| 1978年5月1日  | 石橋座談会あり 「座談会 日米安保・自衛<br>隊とこれからの憲法闘争」 (26頁-39頁)<br>(出席者:久保綾三(軍事問題評論家)、星野<br>安三郎(東京学芸大学教授)他)                               | 社会主義 第142号                 | 1382 |
| 1978年6月10日 | 石橋寄稿あり 「春のこぼ・体験的教育論」<br>(4頁-8頁)  | 季刊教育運動 1978年第2<br>号        | 1312 |
| 1978年10月1日 | 石橋インタビューあり 「「有事立法」は改<br>憲への道」 (46頁-49頁)  | 月刊労働組合 第139号               | 1340 |
| 1978年12月1日 | 石橋インタビューあり 「インタビュー 自<br>衛隊その30年 権力側のねばりに支えられ」<br>(9頁-15頁)  | まなぶ 第225号                  | 1463 |
| 1979年3月25日 | 石橋寄稿あり 「成田前委員長の御逝去を悼<br>んで」 (1頁-2頁)  | 会報 第13号                    | 1309 |
| 1979年4月1日  | 石橋寄稿あり 「成田知己前委員長を想う」<br>(10頁-11頁)  | 月刊労働組合 第145号               | 1341 |
| 1979年6月1日  | 石橋インタビューあり 「石橋政嗣氏に聞く<br>全野党共闘路線は統一戦線の別名」 (8頁<br>-10頁)  | 旬刊社会通信 第56号                | 1402 |
| 1979年6月10日 | 石橋座談会あり 「座談会 有事立法と統一<br>戦線」 (112頁-128頁) (出席者:久保綾<br>三(軍事問題評論家)、岩井章(国際労働運動<br>研究協会会長)、伊藤茂(日本社会党衆議院議<br>員)、梶谷善久(国際問題評論家)他) | 社会主義 第156号                 | 1383 |
| 1979年9月20日 | 石橋講演録あり 「記念講演・今日の政治動<br>向と社会党の任務・労働運動の課題」 (28<br>頁-47頁) (於第7回労研全国集会、1979年8<br>月21日-24日)                                  | 全水道(全日本水道労働<br>組合理論誌) 第21号 | 1424 |
| 1979年10月1日 | 石橋インタビューあり 「インタビュー 社<br>会党を強く大きく」 (9頁-15頁)   | まなぶ 第236号                  | 1464 |
| 1980年4月25日 | 石橋の講演記録あり 「生活・民主主義・平<br>和の危機負けられない参院選の闘い」 (1頁<br>-15頁)   | 社会党ひろしま 第64号               | 1398 |
| 1980年4月25日 | 石橋寄稿あり 「妻の座を強く大きく-民法<br>の改正がようやく実現します-」 (1頁)<br>、他   | 新報させぼ 第9号                  | 1406 |
| 1980年5月1日  | 石橋寄稿あり 「アメリカの新たな世界戦略<br>と日本」 (14頁-21頁)   | 社会主義 第169号                 | 1384 |

| 年月日        | 内容   | 標題                       | 資料番号 |
|------------|--|--------------------------|------|
| 1980年6月1日  | 石橋対談あり 「平和闘争再構築の課題—今こそ非武装中立を訴えよう」 (12頁—19頁) (対談者：松里福慈社青同副委員長、久保綾三軍事問題評論家)                        | 月刊労働組合 第159号             | 1342 |
| 1980年6月1日  | 石橋寄稿あり 「いまこそ非武装中立を」 (1頁—9頁)  | 木村経済レポート 第9巻 第6号(通巻100号) | 1314 |
| 1980年9月1日  | 石橋インタビューあり 「インタビュー 日本社会党はいまなにをすべきか」 (78頁—87頁)  | 社会主義 第174号               | 1385 |
| 1980年9月15日 | 石橋寄稿あり 「目指すべき非武装・中立の現実化」 (17頁—22頁)   | 世界と議会 第219号 [1980年10月号]  | 1423 |
| 1980年9月20日 | 石橋寄稿あり 「軍事費は別枠の意味するもの」 (1頁)  | 新報させば 第10号               | 1407 |
| 1980年11月1日 | 石橋対談あり 「対談 武装すれば安全か—非武装中立と私たち—」 (22頁—29頁) (対談者：梶谷善久(国際問題評論家))                                    | まなぶ 第249号                | 1465 |
| 1980年12月1日 | 石橋関係記事あり 「山川均の「非武装・中立」論」 (25頁—32頁) (石橋著『非武装中立論』への言及)   | 社会主義 第177号               | 1386 |
| 1981年1月5日  | 石橋対談あり 「対談 平和と民主主義を守るために 全面軍縮・非武装中立こそ平和への道」 (7頁—26頁) (対談者：山川暁夫)                                  | オルグ手帖 第230号              | 1307 |
| 1981年1月31日 | 石橋寄稿あり 「〈特集〉81年闘争の課題を展望する=政治=」 (10頁—18頁)   | 都市交 第27号                 | 1439 |
| 1981年3月1日  | 石橋の講演録あり 「最近の改憲情勢と非武装中立—予算審議、竹田発言から—」 (3頁—7頁) (西日本護憲大学における講演)                                    | 平和と民主主義 396号             | 1453 |
| 1981年3月23日 | 石橋座談会あり 「今日の政治情勢と青年の任務—座談会・石橋前社会党書記長を囲んで」 (1頁—15頁) (対談者：星野郁夫(社会党青少年局青年対策委員会事務局長)、大久保公雄(総評青年局長)他) | 全通青年部月報 第72号             | 1426 |
| 1981年4月1日  | 石橋寄稿あり 「平和と安全の道」 (9頁—14頁)  | 全日通 第60号                 | 1427 |
| 1981年4月1日  | 石橋講演録あり 「われわれの闘いと非武装中立政策」 (10頁—22頁) (自治労政治集会での講演 文を収録)   | 自治労通信 改題276(通巻1329)      | 1377 |
| 1981年5月1日  | 石橋講演録あり 「80年代危機と平和闘争(その一) 憲法と非武装」 (4頁—13頁) (於社会党和歌山総支部党学校、1981年2月22日)                            | 学習運動資料 第62号              | 1310 |
| 1981年5月20日 | 石橋寄稿あり 「非武装・中立をめぐって」 (24頁—32頁)   | 月刊総評 婦人問題特集号             | 1333 |

| 年月日             | 内容  | 標題                                  | 資料番号 |
|-----------------|---|-------------------------------------|------|
| 1981年6月8日<br>開催 |   | 月曜会レポート 1030<br>「軍事増強の策動とその危<br>険性」 | 1356 |
| 1982年3月10日      | 石橋講演録あり 「日本の政治情勢について」<br>(4頁-25頁)   | ぜんりんや No. 103                       | 1428 |
| 1982年4月18日      | 石橋関係記事あり 三宅久之「非武装中立論<br>に圧倒的支持 石橋社党副委員長の見解」<br>(1頁-9頁) (三宅: 政治評論家、3月26日に<br>文章化カ) | 内外情勢資料 第602号                        | 1440 |
| 1982年5月1日       | 石橋インタビューあり 「インタビュー 国会<br>闘争ささえる大衆運動の形成を」 (22頁<br>-29頁)                            | 社会主義 第197号                          | 1387 |
| 1982年11月19日     | 石橋関係記事あり 「党大会を前に辞意を表明<br>した石橋社会党副委員長 余力のあるうちに<br>退いて先に備える狙いか」 (2頁-6頁)             | 時事解説 第9097号                         | 1375 |
| 1983年6月1日       | 石橋寄稿あり 「護憲の裾野を広げよう一八<br>〇年代闘争とわれわれの任務」 (1頁-6頁<br>)                                | 党協通信 No. 82-4                       | 1436 |
| 1983年8月30日      | 石橋寄稿あり 「減税の即時実施と政治浄化<br>めざし臨時国会を闘いぬきます」 (1頁)                                      | F・I・O 第3号                           | 1472 |
| 1983年9月1日       | 石橋インタビューあり 「社会党石橋新委員<br>長に抱負をきく」 (1頁)   | 交流の広場 第79号                          | 1364 |
| 1983年9月10日      | 石橋関係記事あり 「税金」と「政治浄化」<br>を掲げ闘う」(8頁-23頁) (2) 「永田町<br>情報 石橋新体制を支える人脈」 (4頁-7<br>頁)    | 国民政治研究会報 昭和5<br>8年9月10日号            | 1370 |
| 1983年9月15日      | 石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめ<br>インタビュー 日本社会党石橋委員長に聞く」<br><1> (2頁) (聞き手: 小谷真澄)             | 共同デスク 第1号〔総選<br>挙闘争〕                | 1316 |
| 1983年9月15日      | 石橋インタビューあり 「日本社会党再建の<br>ために」 (27頁-39頁) (石橋著『非武装<br>中立論』紹介を含む)                     | 国際地域研究 第1巻2号                        | 1365 |
| 1983年10月1日      | 石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめ<br>インタビュー」<2> (4頁) (聞き手: 小谷<br>真澄)                           | 共同デスク 第2号〔総選<br>挙闘争〕                | 1317 |
| 1983年10月15日     | 石橋関係記事あり 宮浦一郎「県人初めての<br>党首 石橋政嗣氏を寿ぐ」(5頁)、「社会党<br>の新委員長に石橋政嗣代議士が就任」(22頁<br>-23頁)   | 月刊長崎県人 第432号                        | 1334 |
| 1983年10月15日     | 石橋インタビューあり 「真澄の面白まじめ<br>インタビュー」<3> (6頁) (聞き手: 小谷<br>真澄)                           | 共同デスク 第3号〔総選<br>挙闘争〕                | 1318 |
| 1983年11月1日      | 石橋対談あり 「対談 新委員長大いに語る」<br>(26頁-40頁) (対談者: 武藤山治)                                    | 社会労働評論 第69号〔1<br>983年11月号〕          | 1399 |

| 年月日         | 内容   | 標題                             | 資料番号 |
|-------------|--|--------------------------------|------|
| 1983年11月1日  | 石橋インタビューあり 「インタビュー 一人ひとりが工夫をこらして党の再建を」 (20頁-26頁)   | 社会主義 第218号                     | 1388 |
| 1983年11月20日 | 石橋寄稿あり 「総選挙闘争に勝利して 中曾根の改憲行革を打ち破ろう」 (10頁-14頁)   | オルグ手帖 第254号                    | 1308 |
| 1983年11月20日 | 石橋インタビューあり 「インタビュー 日本社会党新委員長石橋政嗣氏にきく 日本社会党の課題と党再生への私の決意」 (15頁-29頁)                               | 国際労働運動 第146号 (第13巻第11号)        | 1366 |
| 1984年       | 石橋寄稿あり “On Unarmed Neutrality” (47頁-54頁)   | Japan Echo Vol. 11 No. 1       | 1474 |
| 1984年1月1日   | 石橋寄稿あり 「新春に思う」 (22頁)   | 社会主義 第221号                     | 1389 |
| 1984年1月1日   | 石橋関係記事あり 加藤学「“石橋社会党”の三カ月」 (46頁-49頁)  | 社会労働評論 第71号                    | 1400 |
| 1984年1月2日   | 石橋関係記事あり “After the Big Shokku - Nakasone struggles to put together a new government” (32頁-33頁)  | TIME Vol. 123 No. 21           | 1477 |
| 1984年1月20日  | 石橋関係記事あり 高沢寅男 (日本社会党書記長、衆議院議員) 「党間交流第一次社会党訪中団の成果を語る-党間交流の新たな一頁をひらく-大きく転換した中国共産党の対外政策-」 (42頁-53頁) | 国際労働運動 第148号 (第14巻第1号)         | 1367 |
| 1984年4月15日  | 石橋関係記事あり。竹岡勝美「中曾根・石橋防衛論争の接点」 (10頁-16頁)   | 軍縮問題研究 第41号                    | 1322 |
| 1984年4月15日  | 石橋関係記事あり 「巻頭言 ニュー社会党への道-ある友人への手紙」 (7頁)   | 同盟ニュース 第16巻 (通巻第178号)          | 1438 |
| 1984年5月     | 石橋寄稿あり。「De la neutralit・non armee」 (pp. 39-46)   | Cahiers du Japon No. 20 [1984年 | 1471 |
| 1984年5月1日   | 石橋インタビューあり 「訪米の成果と今後の展望 石橋委員長に聞く 率直な対話で国民友好の土台」 (2頁-6頁)  | 政治情報 No. 37                    | 1421 |
| 1984年5月1日   | 石橋関係記事あり 「ニュー社会党を強めよう」 (1頁)  | 社会新報 号外                        | 1392 |
| 1984年6月25日  | 石橋講演録あり 「ニュー社会党の考え方」 (3頁-35頁)  | 中日懇話会報 99号                     | 1435 |
| 1984年7月1日   | 石橋講演録あり 「党勢拡大でニュー社会党の前進を 石橋委員長ラストチャンスとして訴える」 (1頁-3頁) (第六回中央労対会議での講演)                             | 中央労対ニュース 準備号                   | 1432 |
| 1984年7月10日  | 石橋寄稿あり 「日本社会党第一回全国政策研究集会基調報告 二十一世紀を共に生き、共に栄えるために-私の「文化大国」論」 (18頁-20頁)                            | 現代社会主義研究 理論と資料 No. 61          | 1362 |



| 年月日         | 内容  | 標題   | 資料番号 |
|-------------|---|--|------|
| 1984年10月    | 石橋寄稿あり 「秘書団の皆さんへ」 (2頁)  | ひろば〔日本社会党衆議院秘書団機関紙〕                            | 1451 |
| 1984年10月25日 | 石橋寄稿あり 「ニュー社会党をふり返って」 (1頁-3頁) (於第63回中央委員会)  | 中央労対ニュース 第1号                                   | 1433 |
| 1984年11月10日 | 石橋寄稿あり 「全党あげて党拡緊急行動を」 (1頁)  | 社会新報 号外  | 1393 |
| 1984年11月17日 | 石橋関係記事あり "Applause for Reagan - The world's statesmen try to forecast the second term" (10頁)                  | Newsweek Vol. 104 No. 1 November/December 1984 | 1476 |
| 1984年12月20日 | 石橋寄稿あり 「ニュー社会党にふさわしい機関紙活動の創造をめざそう」 (1頁)   | 社会新報 号外  | 1394 |
| 1985年1月17日  | 石橋インタビューあり 「paving the way The Japanese socialists' return to the 'real world' is a factor in Tokyo-Pyongyang | Far East Economic Review vol. 127 No. 2        | 1473 |
| 1985年1月20日  | 石橋寄稿あり 「八〇年代をわれわれは如何に闘うか」 (4頁-6頁)   | 党協通信 No. 84-2                                  | 1437 |
| 1985年1月20日  | 石橋寄稿あり 「今年こそ政治革新の第一歩を」 (12頁-13頁)  | 国際労働運動 第162号 (第15巻第1号)                         | 1368 |
| 1985年3月1日   | 石橋関係記事あり ユーリー・アフォーニン 「日本の発展の平和的な道—ロシア語版が刊行された石橋政嗣著『非武装中立論』」 (7頁)  | 今日のソ連邦 第28巻第5号 (通巻626号)                        | 1371 |
| 1985年4月1日   | 石橋対談あり 「尾崎正一市議、石橋委員長と都政を語る！」 (1頁) (対談者：尾崎正一(府中市議))  | 社会新報 [1985年4月1日号]                              | 1395 |
| 1985年4月1日   | 石橋寄稿あり 「中曽根政治にストップを」 (5頁-6頁)  | 社会主義 第400号                                     | 1391 |
| 1985年5月15日  | 石橋寄稿あり 「品川区民の皆さんへ」 (1頁)   | 社会新報 品川版 号外                                    | 1396 |
| 1985年6月2日   | 石橋関係記事あり 「政権をめざして 社会党委員長石橋政嗣さん」他 (1頁)他  | 社会新報 号外 国会報告特集号                                | 1397 |
| 1985年6月5日   | 石橋対談あり 「対論 ニュー社会党の自治体論」 (14頁-24頁) (対談者：仲吉良新)  | 月刊自治研 第27巻6月号 (通巻309号)                         | 1324 |
| 1985年10月1日  | 石橋インタビューあり 「結党40年新たな飛躍めざして 社会党・石橋委員長に聞く」 (10頁)  | 共同デスク 第13号 (部分)                                | 1319 |
| 1985年11月1日  | 石橋関係記事あり 「ソ連共産党と日本社会党の会談」 (10頁-13頁) (於クレムリン、石橋・ゴルバチョフ会談(9月16日))   | 今日のソ連邦 第28巻第21号 (通巻642号)                       | 1372 |
| 1985年12月20日 | 石橋関係記事あり 「委員長あいさつ 誇りある歴史を背に信頼される党風を一結党四〇周年を迎えて—」 (27頁-33頁)  | 地方自治 第309号                                     | 1430 |

| 年月日         | 内容  | 標題                        | 資料番号 |
|-------------|---|---------------------------|------|
| 1986年〔1月ヵ〕  | 石橋写真あり（ゴルバチョフと石橋）（3頁）   | 瑞雲 1986年 新正               | 1408 |
| 1986年1月20日  | 石橋対談あり 「新春対談 社会党・次は女の時代！」（2頁-6頁）（対談者：千葉景子）                      | 地方自治 第310号                | 1431 |
| 1986年2月15日  | 石橋写真あり（石橋・シュワルナゼ（ソ連外相）会談）（5頁）                                   | 今日のソ連邦 第29巻第4号（通巻649号）    | 1373 |
| 1986年4月1日   | 石橋インタビューあり 「ソ連共産党第27回大会一意見と感想 率直な自己批判に感銘」（44頁-45頁）              | 今日のソ連邦 第29巻第7号（通巻652号）    | 1374 |
| 1986年5月25日  | 石橋寄稿あり 「オーストラリア、ニュージーランド訪問報告」（3頁-5頁）（於中央労対会議）                   | 中央労対ニュース 第20号             | 1434 |
| 1984年6月20日  | 石橋関係記事あり 青木実「吉留路樹著「革新本流の再生」-石橋政嗣その人と日本社会党の進路-」（34頁-35頁）         | 地方自治 第291号                | 1429 |
| 1986年11月1日  | 石橋関係記事あり 田辺誠「新たな出発点に立って」（5頁-7頁）                                 | 社会労働評論 第105号              | 1401 |
| 1987年4月1日   | 石橋関係記事あり 田尻宗昭「「通信」が運んだ海のドラマ 霊前にささげる国会会議録」（16頁-19頁）（内閣委員会での石橋発言） | 自治労通信 改題第420（通巻1372）      | 1378 |
| 1988年10月15日 | 石橋関係記事あり 「「天皇」「軍拡」焦点に 11月1日から第25回護憲大会」（1頁）                      | 共同デスク 第64号                | 1320 |
| 1988年12月1日  | 石橋挨拶あり 「主催者代表あいさつ」（2頁）（憲法改悪反対・平和と民主主義を護る第25回国民大会報告に際する挨拶ヵ）      | 平和と民主主義 489号              | 1454 |
| 1989年〔1月ヵ〕  |   | 瑞雲 1989年 新正               | 1409 |
| 1989年1月1日   | 石橋寄稿あり 「これからの護憲運動の課題」（2頁）                                       | 平和と民主主義 490号              | 1455 |
| 1990年4月1日   | 石橋寄稿あり 「憲法施行四三周年にあたって」（2頁）                                      | 平和と民主主義 505号              | 1456 |
| 1990年10月1日  | 石橋寄稿あり 「自衛隊海外派兵に道開く国連平和協力隊構想」（2頁）                               | 平和と民主主義 511号              | 1457 |
| 1990年10月5日  | 石橋寄稿あり 「政権交代は議会政治の根幹」（40頁）（通巻110号）                              | 論説会議 第11巻第11号             | 1470 |
| 1990年12月1日  | 石橋講演録あり 「主催者代表挨拶」（2頁）（於「憲法擁護、平和と人権・民主主義を確立する第27回国民大会」）          | 平和と民主主義 513号              | 1458 |
| 1991年1月5日   | 石橋座談会あり 「非武装中立へ一歩」（2面）（出席者：佐藤康英（自治労財政局長）、河辺信雄（県職労委員長））          | 福島全県職（福島県職員労働組合新聞） 第1323号 | 1452 |
| 1991年6月1日   | 石橋寄稿あり 「掃海艇派遣と憲法」（2頁）   | 平和と民主主義 519号              | 1459 |

| 年月日         | 内容  | 標題   | 資料番号 |
|-------------|---|--|------|
| 1991年8月15日  | 石橋弔辞あり 「故田尻宗昭・初代議長を偲ぶ」 (16頁-17頁)                                    | 安全センター情報 第159号                             | 1306 |
| 1991年12月10日 | 石橋著書紹介あり 「新刊紹介『石橋が叩く』石橋政嗣著」 (12頁)                                   | 肥前路 1991年 No. 4 (1991年12月号)                | 1450 |
| 1992年3月3日   | 石橋講演録あり (市職員組合の92年春闘学習会における特別講演「内外情勢と労働組合の講演進路」)                    | 自治労させば 第38号                                | 1376 |
| 1992年6月1日   | 石橋寄稿あり 「この本を読んで『憲法を守れ 違法の海外派兵』」 (43頁)                               | まなぶ 第400号                                  | 1466 |
| 1992年7月1日   | 石橋寄稿あり 「護憲の党の先見性」 (6頁-7頁) (「標的」コーナー)                                | 月刊労働組合 第309号                               | 1343 |
| 1992年10月10日 | 石橋インタビューあり 「元社会党委員長石橋政嗣氏に聞く 社会党をどう改革すべきか上」 (14頁-21頁)                | 現代社会時評 通巻284号 (1992年11月号)                  | 1357 |
| 1992年12月25日 | 石橋インタビューあり 「社会党をどう改革すべきか」 (26頁-29頁) (1993年1月号)                      | 現代社会時評 通巻285号                              | 1358 |
| 1993年6月1日   | 石橋寄稿あり 「石橋がたたく1 政治診断 大山鳴動、ねずみ一匹」 (22頁-23頁)                          | 現代社会時評 第278号 (1993年6月号)                    | 1359 |
| 1993年8月1日   | 石橋寄稿あり 「石橋がたたく2 護憲の旗を降ろすのか」 (26頁-27頁)                               | 現代社会時評 第279号 (1994年8月号)                    | 1360 |
| 1993年10月1日  | 石橋寄稿あり 「石橋がたたく3 怖るべし、小沢一郎の深謀遠慮」 (30頁-31頁)                           | 現代社会時評 通巻第280号 (1993年10月号)                 | 1361 |
| 1993年10月1日  | 石橋寄稿あり 「社会党と日本の政治への直言 総保守化で改憲の危機を感じる」 (特集「社会党に再生の道はあるか」欄) (12頁-13頁) | 月刊労働組合 第325号                               | 1344 |
| 1994年3月1日   | 石橋寄稿あり 「護憲・平和と日本社会党」 (「特集 労働運動の今日的課題-94年春闘講座から」欄) (16頁-22頁)         | 月刊労働組合 第331号                               | 1345 |
| 1998年9月25日  | 石橋関係記事あり 「元社会党委員長・元衆議院議員石橋政嗣」 (28頁-29頁) (コラム「私の好きな言葉」欄)             | 心泉 通巻第40号 [1998年10月号]                      | 1405 |
| 1999年10月    |   | 平和と民主主義 [憲法擁護・平和・人権フォーラム NeWs PaPer] 第618号 | 1460 |
| 2000年1月1日   | 石橋著書書評あり 浦口俊郎『55年体制-内側からの証言』 (80頁-81頁) (コラム「私の書棚」欄)                 | 社会主義 第443号                                 | 1390 |